

新丸山ダム周辺地域振興ビジョン
(案)

令和5年3月

新丸山ダム水源地域協議会

はじめに

新丸山ダム建設事業は、木曾川中流の岐阜県加茂郡八百津町及び可児郡御嵩町に位置する既設丸山ダムを嵩上げすることにより、洪水調節・発電の強化に加え、新たに河川環境の保全等のため流水の確保を目的とする多目的ダムとして建設するものである。

1980（昭和 55）年から実施計画調査として、ダムサイトの詳細な地質調査や概略設計のほか、関係者との調整を進める中で、1983（昭和 58）年 9 月に台風 10 号と秋雨前線により戦後最大規模の洪水が発生し、美濃加茂市、坂祝町等において越水などによる甚大な被害に見舞われた経緯もあり、1986（昭和 61）年から建設事業に着手した。

これまでに、用地取得や家屋移転を概ね完了し、付替道路や工事資機材運搬路等の整備を進め、2021（令和 3）年 12 月よりダム本体工事に着手している。

新丸山ダムの建設が本格化する中、丸山ダム周辺における自然・文化・伝統等の地域資源とともに、新丸山ダム建設に伴う基盤整備等を活用し、ダム周辺地域の振興に資する効果的な施策を検討する場として、2017（平成 29）年 8 月に瑞浪市、恵那市、八百津町、御嵩町と新丸山ダム関係機関（関西電力株式会社及び国土交通省（木曾川水系ダム統合管理事務所・新丸山ダム工事事務所））で構成される「新丸山ダム水源地域協議会」を設立した。

新丸山ダム水源地域協議会では、地域事業者や旅行業等の関係者の意見も取り入れながら、社会の変化や地域の特徴を分析し、中長期的・広域的な視点に立って、様々な主体と幅広い分野において連携を図り、ダム周辺地域の魅力を高め、地域の満足度を継続的に高める地域振興についての基本的な考え方を「新丸山ダム周辺地域振興ビジョン」としてとりまとめた。

新丸山ダム周辺地域振興ビジョン

目次

第1章 新丸山ダム周辺地域を取り巻く社会の変化.....	1
1. 社会情勢の変化.....	1
(1) 少子高齢化のさらなる進行.....	1
(2) ライフスタイルの変化.....	1
(3) デジタル社会の進展.....	2
(4) カーボンニュートラルへの対応.....	2
(5) 水災害の頻発化・激甚化.....	3
2. 周辺環境の変化.....	4
(1) 新丸山ダム建設事業に伴う交通インフラの整備.....	4
(2) リニア中央新幹線及び新駅整備の計画.....	4
3. 新丸山ダム建設事業の目的.....	5
第2章 新丸山ダム周辺地域の主な特徴.....	6
1. 新丸山ダム周辺地域の強み.....	6
(1) 豊かな自然環境.....	6
(2) 固有の歴史・文化.....	6
(3) 充実した交通インフラ・ネットワーク.....	8
(4) 国内外に発信できる価値の高い観光資源.....	8
2. 新丸山ダム周辺地域の課題.....	9
(1) 観光スタイル.....	9
(2) 受け入れ体制.....	9
(3) 観光資源の連携.....	9
第3章 新丸山ダム周辺地域の目指す地域振興.....	10
1. 基本的な考え方.....	10
2. 目指す地域振興.....	10
(1) 資源を磨き、発掘し、つなげる（魅力を高める）.....	10
(2) 来訪者や関係人口を増やす（人を集める）.....	10
(3) 地域経済の好循環を生み出す（消費の活性化）.....	11

第4章 地域振興の実現に向けて	12
1. 基本的な考え方	12
2. 魅力をつなぐプロジェクト	12

※新丸山ダム周辺地域振興ビジョンの対象地域

主として、瑞浪市、恵那市、八百津町、御嵩町の2市2町

第1章 新丸山ダム周辺地域を取り巻く社会の変化

1 社会情勢の変化

(1) 少子高齢化のさらなる進行

- ・我が国の人口は 2008（平成 20）年をピークに減少に転じており、全国的に高齢化率が増加し、生産年齢人口が減少している。岐阜県の総人口は、2015（平成 27）年の 2,032 万人から 2045 年は 1,557 万人のマイナス 23%、生産年齢人口も 2015 年の 1,185 万人から 2045 年は 784 万人のマイナス 34%に減少すると推計されており、総人口・生産年齢人口ともに減少率が全国平均より大きい傾向にある。
- ・上記と同じ期間内で、瑞浪市・恵那市・八百津町・御嵩町（以下、2 市 2 町という）においては、総人口でマイナス 33%、生産年齢人口でマイナス 45%と推計されており、全国及び岐阜県の傾向に比べると減少率が大きくなると推定されている。
- ・2 市 2 町の高齢化率は、10%上昇すると推定されており、全国の増加率及び岐阜県の増加率傾向に比べると増加率が大きくなると推定されている。
- ・一方、在留外国人の人口は、2012（平成 24）年から 2021（令和 3）年までの約 10 年間で、全国では約 1.4 倍、岐阜県では約 1.3 倍に増加しており、2 市 2 町では全国や岐阜県を上回る約 1.5 倍に増加している。一方、新型コロナウイルス感染症が発生した令和元年以降は、ほぼ横ばいである。

(2) ライフスタイルの変化

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえ、テレワークの導入が急速に進むとともに、企業では BCP の観点からオフィスの地方分散が行われるなど、働き方は大きく変化している。
- ・働き方の変化とともに、近年では都市部で仕事をしながら地方部で魅力ある暮らしを実現するなど、主な生活拠点とは別の特定地域に生活拠点を設ける二地域居住が注目され、地方暮らしへの関心やニーズ、機運がさらに高まっている。
- ・観光業では、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、宿泊、飲食、バス・タクシー等の利用者が大幅に減少し、経営に大きな影響が出ている。このため、自宅から 1～2 時間程度の近場の旅行「マイクロツーリズム」による地元の魅力再発見や、ワーケーションの実施など、新たなニーズに対応した地域振興が注目されている。
- ・ライフスタイルの多様化が進展するにつれ、個人の時間の使い方や興味、人生観や価値観も多様化し、豊かで魅力ある地方への関心が高まる素地が形成されつつある。
- ・恵那市においては、移住定住のために「恵那くらしビジネスサポートセンター」を開設し、「就職や起業の相談から移住・定住など住まいに関する」サポートを展開している。
- ・瑞浪市、八百津町、御嵩町においては、公式 HP で移住に関する情報を発信している。

(3) デジタル社会の進展

- ・IoT、5G、AI等のデジタル技術が革新的に向上し、バスやタクシーといった交通機関や物流サービスの自動運転、スマート農業、ネットショッピングなど様々なサービスが急速に展開され、一人ひとりの状況に応じたきめ細かいサービスや新たな体験が低コストで提供できるようになり、生活の利便性が向上している。
- ・人口減少や高齢化が進行する中で生産性の向上は不可欠であり、誰もが住みやすく、持続可能な社会をつくるため、デジタル技術を活用したスマートシティの取り組みが各地で広がりにつつある。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により「人との接触を避ける」手段としてテレワークの必要性が高まった他、これまで対面で行われていた会議や打ち合わせのリモート化が日常的に行われている。
- ・八百津町ではオンライン観光ツアー、御嵩町ではリモート観光ツアーの動画配信、瑞浪市や恵那市ではデジタル観光パンフレットのHPでの公開等が行われている。また、SNS（Twitter、YouTube、Facebook、Instagram、LINE等）を積極的に活用し、デジタルコンテンツを通じて地域の魅力の発信や若い世代への情報発信を行っている。
- ・新丸山ダム建設事業では、調査・設計から維持管理までBIM/CIMを活用しつつ、3次元データの活用やICT等の新技術の導入を加速化させる『3次元情報活用モデル事業』に選定され、集中的かつ継続的に3次元データを利活用することで、事業の効率化・高度化を推進し建設現場における生産性の向上を目指している。

(4) カーボンニュートラルへの対応

- ・世界の温室効果ガス排出量は増加し続けており、世界の平均気温は長期的に見ると、100年に0.75℃のペースで上昇している。2015年に採択されたパリ協定において、2020年以降の気候変動問題に関する国際的な枠組みが定められた。2020（令和2）年10月、我が国では、「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言した。
- ・これらの地球温暖化対策の代表的な方策として、自然エネルギーの導入促進や公共交通機関の利用促進、次世代自動車の普及促進等が挙げられる。
- ・新丸山ダムにおいては、水力発電は地球環境の自然エネルギーであり、地球に優しいクリーンなエネルギーを生み出す。
- ・2市2町は、豊かな森林に恵まれており、CO₂を吸収する緑豊かな地域である。地域振興や観光面に関しては、パーク＆ライド拠点の拡充やバスによる効率的なアクセス等、公共交通機関の普及や利用促進を行い、CO₂排出量の削減を目指している。

(5) 水災害の頻発化・激甚化

- ・近年は毎年のように全国各地で豪雨による洪水や浸水被害、土砂災害等が多く発生している。
- ・近年 10 年間（2011～2020 年）の集中豪雨の平均年間発生回数は、統計期間の最初の 10 年間（1976～1985 年）の平均年間発生回数と比べて約 1.4 倍に増加している他、土砂災害も 2018（平成 30）年に過去最多となる 3,459 件発生するなど、頻発化している。
- ・新丸山ダム周辺地域では、瑞浪市で 2020（令和 2）年 7 月に豪雨による倒木や土砂災害等の被害が発生している。また、八百津町や御嵩町では 2010（平成 22）年 7 月の豪雨による床上・床下浸水や土砂災害等の被害が発生している。
- ・丸山ダムでは、2021（令和 3）年 8 月の豪雨により、管理開始以降 4 番目に大きいダムへの流入量を観測し、22 年ぶりに防災操作を実施した。丸山ダムの洪水調節により、木曾川の八百津地区地点（岐阜県加茂郡八百津町）では、約 0.6m の水位低下が見込まれ、災害リスクの低減に寄与した。
- ・気候変動の影響による水災害リスクの増大に備えるため、河川管理者が主体となって行う治水対策に加え、氾濫域も含めて一つの流域として捉えその河川流域全体のあらゆる関係者が協働し、流域全体で水害を軽減させる治水対策「流域治水」への転換が進められている。
- ・木曾川流域では、2021（令和 3）年 3 月に河川整備に加え、流域の市町村などが実施する雨水貯留浸透施設の整備や土地利用規制・誘導等、都道府県や民間企業等が実施する利水ダムの事前放流等の治水対策の全体像について「木曾川水系流域治水プロジェクト」として示し、ハード・ソフト一体となった事前防災対策を進めている。
- ・大雨の頻度が増加している一方で、渇水の頻度も増加している。地球温暖化に伴い、年ごとの降水量の変動幅が大きくなっており、さらなる洪水と渇水リスクの増大が懸念されている。

2. 周辺環境の変化

(1) 新丸山ダム建設事業に伴う交通インフラの整備

- ・新丸山ダム建設事業により、恵那市と八百津町をつなぐ付替道路国道 418 号の整備を進め、2010（平成 22）年 3 月には一部区間の供用が開始されている。全線開通すると、八百津町から恵那市飯地町までの所要時間が約 40 分短縮するなど、安全性・アクセス性が大幅に向上する。
- ・瑞浪市と八百津町をつなぐ八百津町道十日神楽線及び県道大西瑞浪線（五月橋架け替え含む）は、付替道路国道 418 号を起点として整備が進められ、全線開通すると自動車による通行が可能となり、瑞浪市と八百津町の安全性・アクセス性が向上する。
- ・八百津町と御嵩町をつなぐ町道井尻大久後線（通称みたけエコライン）はダム建設に必要な資機材の運搬路として整備され、2008（平成 20）年 3 月に利用が開始され、工事用車両の通行に加え、地域の生活道路として利用されている。

(2) リニア中央新幹線及び新駅整備の計画

- ・今後、リニア中央新幹線の東京・名古屋間の開業により、恵那市が隣接する中津川市に計画されている新駅（岐阜県駅（仮称））と東京は約 1 時間で結ばれる。現在、東京駅から恵那駅までの所要時間は約 3 時間であるが、約 1 時間 15 分でのアクセスが可能となり、これまでの名古屋圏へのアクセスとほぼ同時間で首都圏と結ばれる。
- ・2 市 2 町では、新丸山ダム建設事業による交通ネットワークの強化に加え、瑞浪市と恵那市をつなぐ国道 19 号瑞浪恵那道路の整備や、中津川市と恵那市の両市街地を結ぶ東濃東部都市間連絡道路が計画されている。

3. 新丸山ダム建設事業の目的

新丸山ダムは、木曾川中流の岐阜県加茂郡八百津町及び可児郡御嵩町において建設中の多目的ダムで、洪水調節、流水の正常な機能の維持並びに発電を目的としている。

①洪水調節

新丸山ダムの建設により、洪水調節容量を増加させ、新丸山ダムが建設される地点における計画高水流量 10,000 m³/s のうち、4,300 m³/s の洪水調節を行う。

② 流水の正常な機能の維持

新丸山ダムの建設により、新たに 15,000,000 m³の貯留が可能となり、渇水時に木曾川沿川の既得用水の安定化と河川環境の保全等を行うために必要な流水を確保する。

③発電

新丸山ダムの建設により、既設の丸山発電所及び新丸山発電所において最大出力を 22,500kw 増加させ、最大出力 210,500kw の発電を行う。

第2章 新丸山ダム周辺地域の主な特徴

1. 新丸山ダム周辺地域の強み

(1) 豊かな自然環境

- ・2市2町は、見行山、秋葉山、笠置山等の1,000m級の山地が連なり、豊かな森林に覆われ、日本らしい美しい景観と豊かな水の供給源をなしている。
- ・2市2町が面する木曾川は、長野県の鉢盛山を源として飛騨川などと合流し、濃尾平野を流れ伊勢湾に注ぐ流域面積 5,275 km²、幹川流路延長 229 kmの我が国有数の大河川であり、長野県、岐阜県、愛知県、三重県を貫流し、肥沃な土壌と水の恵みを与えている。
- ・木曾川が作り出す蘇水峡・深沢峡・笠置峡・恵那峡等の峡谷は、飛騨木曾川国定公園や恵那峡県立自然公園等に位置し、春には桜、秋には紅葉が湖面に映え、四季折々の景色を楽しむことができる豊かな自然環境がある。
- ・山地地形を利用した坂折棚田（恵那市）や上代田棚田（八百津町）は、現在でも丁寧な管理保全が行われ、全国でも有数の美しい風景として日本の棚田百選に選ばれ、四季や気象条件によってさまざまな風景が生み出され、日本の原風景が残されている。
- ・これらの自然環境は、雄大な風土や風景、景観を形成し自然が生み出す芸術であるとともに、豊富な植物や生態系を育んでいる。

(2) 固有の歴史・文化

- ・江戸時代に整備された中山道が通る瑞浪市・恵那市・御嵩町では、商業集落として街道筋の大湫宿・細久手宿（瑞浪市）、大井宿（恵那市）、御嶽宿・伏見宿（御嵩町）を中心に栄え、国指定重要文化財である大寺山願興寺や国登録有形文化財の旧森川訓行家住宅・脇本陣等の貴重な文化財が数多く点在している。
- ・相生座（瑞浪市）や飯地五毛座（恵那市）は、江戸時代から現代に至るまで地域の人々によって演じられる地歌舞伎・地芝居が受け継がれ、地域の伝統芸能を継承している。
- ・岩村城跡（恵那市）は日本三大山城のひとつで、鎌倉時代から明治に至る廃城令まで約 700 年間に及ぶ日本の城史にも例を見ない長い歴史を有している。小里城跡・鶴ヶ城跡（瑞浪市）、明知城跡（恵那市）は、岐阜県の県指定史跡に登録されており、明智光秀を始めとする、偉大な歴史の魅力を感じることができる。
- ・人道の丘公園・杉原千畝記念館（八百津町）では、第二次世界大戦中にユダヤ避難民に対し、独断で日本通過ビザを発給したことで数千人もの命を救った元外交官「杉原千畝」の人道博愛の精神、命の大切さを発信している。
- ・国指定重要文化財である旧八百津発電所資料館（八百津町）は、木曾川水系初の本格的な発電所として建設され、明治・大正・昭和にかけての水力発電の歴史を伝えている。
- ・食文化では、秋の味覚である栗きんとんや地産地消の食材にこだわりを持ってつくられた五平餅は、2市2町に共通する代表的な特産品であり、県内外から多くの人が訪れている。また、瑞浪ポーノポークや地酒、八百津せんべい、みたけ華ずし、へぼ料理等、地域の風土と歴史に育まれた食文化を有している。

- ・これらの地域固有の歴史や文化は、社会の変化に応じ保護・活用がなされ、長く地域に親しまれ、暮らしの中でその周辺環境まで含めて、大切に受け継がれてきた貴重な地域資源である。

(3) 充実した交通インフラ・ネットワーク

- ・2市2町は、名古屋市や岐阜市等の中部都市圏から、約1時間～1時間半でアクセス可能な地域である。自動車でのアクセス手段として、中央自動車道（瑞浪 IC、恵那 IC）が地域内を東西に横断している他、国道19号、国道418号、国道21号、東海環状自動車道等が主なアクセス道路である。公共交通機関は、JR中央本線、明知鉄道、名鉄広見線等が運行している。
- ・新丸山ダム建設事業により整備される東西を結ぶ付替道路国道418号（恵那市・八百津町）、南北を結ぶ町道十日神楽線及び県道大西瑞浪線（瑞浪市・八百津町）、県道井尻八百津線（八百津町・御嵩町）は、主要な道路として、2市2町の利便性は格段に向上し、交通ネットワークが強化される。
- ・今後、リニア中央新幹線の東京・名古屋間の開業に向け、中津川市に計画されている新駅（岐阜県駅（仮称））の周辺道路整備事業により、2市2町の交通ネットワークはさらに広がり、首都圏や大都市を含む広域交通ネットワークが形成される。
- ・充実した交通インフラ・ネットワークにより利便性が高まり行動範囲が拡大することで「人」「物」「情報」の交流が活性化し、ライフスタイルの多様化につながり、新たな来訪者や移住者の増加が見込まれる。また、新たなビジネスチャンスが生まれるなど、幅広い分野で企業活動が促進することが期待される。

(4) 国内外に発信できる価値の高い観光資源

- ・2市2町は、豊かな自然環境や固有の歴史・文化に加え、様々な食文化など、多様で豊富な観光資源を有している。
- ・観光客入込客数は、新型コロナウイルスの影響を除けば、年間500万人を上回り安定している。来訪者の属性は、高齢者や家族連れ、中山道を中心に外国人観光客の来訪が多い。
- ・瑞浪市では、農産物等直売所のきなあつ瑞浪・ゴルフ場の観光客数が全体の約9割を占めており、次いで美濃源氏七夕まつりやサイエンスワールドへの来場者数が多い。
- ・恵那市では、市神神社で毎年1月7日に開催される七日市が岐阜県内の行事祭・イベント入込客数の第5位になるほど集客力がある。さらに市内に3か所ある道の駅（おばあちゃん市・山岡、そばの郷らっせいみさと、上矢作ラ・フォーレ福寿の里）を目的とした来訪者が約5割を占めており、次いで日本大正村や恵那峡への来訪者数が多い。
- ・八百津町では、杉原千畝記念館をはじめ、日本一の高さを誇る岐阜バンジーや五宝滝、めい想の森など、国内外を問わず多くの観光客が訪れる観光資源を有している。特に、杉原千畝記念館や人道の丘公園は、イスラエルなど外国人の来訪者数が多い。
- ・御嵩町では、四季折々の風を感じることでできるゴルフ場への来訪者が半数以上を占めており、次いで飛騨木曾川国定公園の一部である鬼岩公園や、中山道に関する資料や展示を見ることができる中山道みたけ館への来訪者数が多い。
- ・2市2町には、中山道と宿場町を始めとする国内外に発信できる多様な地域固有の観光資源があり、これらの観光資源をつないで情報発信することで、国内外からの観光客の増加が期待される。

2. 新丸山ダム周辺地域の課題

(1) 観光スタイル

- ・2市2町を訪れる多くの来訪客は、名古屋圏等から自家用車で観光名所をスポット的にまわり、滞在時間が短く日帰りの観光が主流であるため、経済効果は低い傾向にある。
- ・国内外に発信できる多様な地域固有の観光資源を有しているが、観光資源が類似する他県と比べて地域固有の情報発信が弱く、差別化が課題である。

(2) 受け入れ体制

- ・地域の飲食店や宿泊施設においては、団体客が来訪できる施設やサービス体制が限られており、団体ツアー客の受け入れ体制が困難な状況にある。
- ・来訪者は、公共交通機関が限られているため、自家用車での来訪がメインとなり、公共交通機関での移動手段が望まれている。
- ・海外からの来訪客に対して、多言語による情報発信や案内・誘導等の設備が限定的である。
- ・ダムの見学などの屋外観光がメインの観光では、雨天時に代替できる施設が必要である。

(3) 観光資源の連携

- ・国内外に発信できる固有の観光資源を有しているが、地域間相互の周遊を促す情報発信や、連携したプログラムが限られている。
- ・2市2町と関西電力株式会社及び国土交通省（木曾川水系ダム統合管理事務所・新丸山ダム工事事務所（以下、ダム関係機関という））が、それぞれの観光資源の共有化を図り、強みを活かし、課題を補う役割分担など、連携する体制の構築が必要である。
- ・新丸山ダムをはじめとするインフラ施設を共通の観光資源として捉え、新たな魅力として活用することが求められている。

第3章 新丸山ダム周辺地域の目指す地域振興

1. 基本的な考え方

- ◇豊かな自然環境や日本らしい美しい景観、固有の歴史・文化、価値の高い観光資源など豊富な地域資源を有する新丸山ダム周辺地域を一つの地域と捉え、資源を磨き、発掘し、つなげて周辺地域全体の魅力を高める。
- ◇2市2町とダム関係機関が魅力ある地域資源を共有し、地域間相互に補完・連携した活動と充実した交通・情報通信ネットワークの形成により周辺地域全体の満足度を向上させ、地域の寛容性を高め、国内外からの来訪者や移住者、地域や地域の人々と関わる人口を増やす。
- ◇「人」「物」「情報」の交流が活性化し、新たな来訪者や移住者の増加により消費行動が高まり、新たなライフスタイルへの適応により幅広い分野においてビジネスチャンスが生まれ、企業活動が促進され、持続的に地域経済の好循環を生み出す。

2. 目指す地域振興

(1) 資源を磨き、発掘し、つなげる（魅力を高める）

- ・新丸山ダム周辺地域は、自然環境が豊かで、日本らしい美しい景観や懐かしい感情が芽生える原風景が残されている。歴史的に価値の高い貴重な文化財や地域の伝統芸能が数多く点在し、長く地域に親しまれ大切に受け継がれている。また、地域の風土と歴史に育まれた食文化は、食材や製法のこだわりが国内でも関心を高めブランド化が展開されている。
- ・このような多様で豊富な地域資源を有する新丸山ダム周辺地域の特徴を活かし、保有する地域資源をさらに磨きをかけて優れた資源に成長させ、新たな資源を発掘し育て、地域らしさを大切に、多様な資源をつなげてネットワーク化することにより、新丸山ダム周辺地域の魅力を高める。

(2) 来訪者や関係人口を増やす（人を集める）

- ・新丸山ダム周辺地域の高い価値を有する多様な資源を、関係する行政機関や経済団体等が共有し、それぞれが短所を補い長所を高める連携により、様々な取り組みに付加価値を与え周辺地域全体の満足度を高める。
- ・ライフスタイルの多様化やデジタル社会の進展により、過ごし方、暮らし方、働き方が大きく変化するとともに、充実した交通インフラ・ネットワークの形成により移動時間が短縮し行動範囲が拡大することで利便性は格段に向上し、地方への関心や興味が高まり、新たな来訪者や移住者を呼び込む。
- ・性別、年齢、国籍など、多様な人々が暮らしやすく、訪れやすい受け入れ環境の支援を広げ、異なる人生観や価値観、文化の多様化に対応する地域全体の寛容性を高める。
- ・安全・安心を創出する防災・減災対策やカーボンニュートラル、自然エネルギーの活用といった地球温暖化対策を進め、地域で暮らす人が豊かに暮らし、住みやすく、賑わいのある地域をはぐくむ地域振興により、自らの地域への愛着・誇りを醸成する。

(3) 地域経済の好循環を生み出す（消費の活性化）

- ・国内外からの来訪者の消費を促すために効果的な情報発信力を向上し、サービス、製品の付加価値を高め消費行動を高める。
- ・新丸山ダム周辺地域の特徴を活かし、来訪者、メディアに認められるブランドを形成し、社会情勢の変化にあわせたターゲティング、ブランディングを行う。それを踏まえ幅広い分野において新しいニーズに対応したサービス、商品開発を行い、リピーターの創出につなげ持続的に地域経済の好循環を生み出す。

第4章 地域振興の実現に向けて

1. 基本的な考え方

- ◇新丸山ダム周辺地域の地域振興の実現に向けて、2市2町と新丸山ダム関係機関が中心となり、他の自治体や地域の事業者等の取り組みを意識し、総合的な効果が発揮されるよう、様々な主体と横断的に連携して地域振興を進める。
- ◇2市2町の連携により相乗効果が期待される地域振興施策については、具体的な行動計画として「魅力をつなぐプロジェクト」と位置づけ、行政、商工会、地域の住民等が組織や分野の垣根を越えた強固な協働により取り組みを進める。
- ◇新丸山ダム周辺地域の魅力を高め地域の満足度を継続的に高める地域振興は、木曾川流域内の連携と交流によるバランスの取れた流域圏の発展に寄与する。

2. 魅力をつなぐプロジェクト

- ・新丸山ダム周辺地域振興ビジョンに基づき、2市2町が連携して取り組みを加速化させる具体的な地域振興施策を「魅力をつなぐプロジェクト」として取りまとめる。
- ・連携する地域振興施策は、現状の地域資源を活かした施策に加え、将来的な構想や計画段階の施策も含める。
- ・プロジェクトは、新丸山ダム周辺地域協議会で組織する幹事会及びワーキンググループにおいて検討し、地域振興施策を実施する推進主体、体制、工程、プラン提供ターゲット、連携主体、連携する上での留意事項等をアクションプランとして取りまとめ実践していく。
- ・プロジェクトの取り組み状況は、協議会において継続的にフォローアップを行い、社会情勢の変化や地域のニーズ等を意識し、柔軟に追加、見直しを行い、持続可能な地域振興を展開する。

おわりに

瑞浪市長 水野 光二

瑞浪市と八百津町を繋ぐ五月橋の架け替えにより、観光・文化等の地域間交流が促進され、周辺整備事業と共に大きな効果を期待しています。

また、本ビジョンの策定により、各地のダム及び周辺観光地を活用したモデルルートや2市2町のイベントとのコラボなど、観光資源としてのダムの活用及びコンテンツ開発や、滞在型観光の開発等、工夫を凝らした地域振興が促進されることを期待します。

恵那市長 小坂 喬峰

新丸山ダム周辺地域振興ビジョンの策定にご尽力いただいた皆様に先ずもって感謝申し上げます。当地域は、豊かな自然や歴史・文化など豊富な地域資源を有しています。今後も、ダム関係機関のお力添えと2市2町の連携により、これらの地域資源を磨き、発掘し、つなげることで、地域の魅力を高め、地域経済の活性化が図られることを期待します。

八百津町長 金子 政則

新丸山ダム周辺地域は、古くより木曾川を通じ、人と物の往来を生み、共に発展してきた歴史があります。一方、少子高齢化や人口減少が進行し、地域の活力維持に様々な課題を抱えています。そのような状況の中で、ダムは本来の治水・発電・環境保全といった目的に加えて、地域資源の一つとして地域振興に貢献できる有効なツールの一つと考えます。本ビジョンが、地元住民のご理解とご協力により周辺地域全体の新しい価値の創造となることを期待します。

御嵩町長 渡邊 公夫

新たな技術を駆使し、着々と嵩上げ工事が進む新丸山ダムの完成は、私をはじめ御嵩町民の楽しみであり、常に注目しています。

前例のないダム再開発事業に係る2市2町が更に連携を強め、本ビジョンに則った様々な施策を展開していくことにより、この地域の経済、産業、観光など、幅広い分野の振興に結び付くことを期待しております。

関西電力株式会社 東海支社長 小森 浩幸

本ビジョンで新丸山ダム周辺地域が目指す地域振興の方向性が明確になりましたことは大変意義深いことと考えております。今後、本ビジョンにもとづく具体的な施策を策定、実行していく中で、新丸山ダム周辺地域の2市2町と新丸山ダム関係機関が有機的に繋がり、ダム周辺が持続的に魅力ある生き活きとした地域となることを期待しております。

＜新丸山ダム水源地域協議会 会員＞

(敬称略)

所属等	氏名
瑞浪市長	水野 光二
恵那市長	小坂 喬峰
八百津町長	金子 政則
御嵩町長	渡邊 公夫
関西電力株式会社 東海支社長	小森 浩幸
国土交通省木曾川水系ダム統合管理事務所長	渡邊 伸也
国土交通省新丸山ダム工事事務所長	加納 啓司

参 考

第1回新丸山ダム水源地域協議会

*概要

日時	平成29年8月25日(金) 10:00~11:00
会場	八百津ファミリーセンター(中央公民館) 講義室
参加者	瑞浪市長 水野光二、恵那市長 小坂喬峰、八百津町長 金子政則、御嵩町長 渡邊公夫、関西電力株式会社東海支社総務部長 荻田恭之(東海支社長代理)、国土交通省中部地方整備局丸山ダム管理所長 下村卓、国土交通省中部地方整備局新丸山ダム工事事務所長 川瀬宏文
議事内容	(1) 新丸山ダム水源地域協議会規約について (2) 新丸山ダム水源地域の振興に向けて <ul style="list-style-type: none"> ・他ダムにおける地域振興の取り組みについて ・丸山ダム・新丸山ダムにおける地域振興に係る取り組み ・瑞浪市、恵那市、八百津町、御嵩町の地域振興に向けた考え方について (3) 今後の協議会の進め方について

*第1回新丸山ダム水源地域協議会 議事概要

第1回新丸山ダム水源地域協議会

- ・ 2017(平成29)年8月25日、八百津町ファミリーセンターで「第1回新丸山ダム水源地域協議会」を開催しました。
- ・ 新丸山ダムの工事が今後本格化することから、ダム建設に伴う基盤整備や丸山ダムと工事中的新丸山ダムそのものを活かした観光客の更なる誘致など、水源地域の振興に向けた考え方について、意見交換を行いました。
- ・ 今後は、地域振興に向けたハード整備とソフト整備の具体的な検討を進めて行くことを共有しました。



瑞浪市 水野市長



恵那市 小坂市長



八百津町 金子町長



御嵩町 渡邊町長

【瑞浪市長】
おばあちゃん市のある小里川ダムは、近場の成功例である。成功例を分析して新丸山ダムの魅力向上に繋げることが重要である。新丸山ダム、小里川ダム、阿木川ダム、大井ダムとダムを結ぶコースに、相生座などの観光を盛り込み、連携したツアーが組めると良い。



関西電力(株)東海支社 荻田総務部長



丸山ダム管理所 下村所長



新丸山ダム工事事務所 川瀬所長

【恵那市長】
リニアへのアクセスとして付替国道418号に大きく期待している。恵那市は、観光を一つの大きな産業と捉え、観光客の誘致で地域で暮らしている人を増やしていこうと考えている。人を呼ぶには、見る、食べる、遊ぶ(学ぶ)の複合的な視点で観光を目指すことが重要である。

【八百津町長】
杉原千畝記念館に海外からの来訪者も多く、新丸山ダムの工事が本格化すれば、更に来訪者が増えると予想されるため、協議会での検討に期待している。また、県外や海外向けの他、地域の方に向けたツアー案の検討も期待している。

【御嵩町長】
ダム周辺に橋から見える綺麗な里山の印象を与えられるような整備を考えたい。木曾川や中山道の繋がりを活かした観光コースの提案や、飛騨木曾国定公園に含まれる自然環境を活かした観光コースを具体的に提案していきたい。



第1回新丸山ダム水源地域協議会の様子

【関西電力(株)東海支社総務部長】
水源地域の活性化のため、ダムツーリズムにおける発電所見学の入受や時期設定について、出来る限り協力していきたい。

第2回新丸山ダム水源地域協議会

*概要

日時	平成30年11月21日(水) 16:40~17:30
会場	八百津ファミリーセンター(中央公民館) 講義室
参加者	恵那市長 小坂喬峰、八百津町長 金子政則、御嵩町長 渡邊公夫、瑞浪市建設部長 金森悟(瑞浪市長代理)、関西電力株式会社東海支社総務部長 中田一真(東海支社長代理)、国土交通省中部地方整備局丸山ダム管理所長 下村卓、国土交通省中部地方整備局新丸山ダム工事事務所長 野々村武文
議事内容	(1) 新丸山ダム水源地域協議会規約について (2) 新丸山ダム水源地域協議会のこれまでの取り組みについて

*第2回新丸山ダム水源地域協議会 議事概要

第2回新丸山ダム水源地域協議会

- 2018(平成30)年11月21日、八百津町ファミリーセンターで「第2回新丸山ダム水源地域協議会」を開催しました。
- ツーリズム誘致の取組や展望台の候補地の検討状況、転流工「記念石」のスタンプラリー実施などについて共有し、地域振興への期待や思いについて意見交換を行いました。
- 今後は、新たなツーリズムの検討や、ハード・ソフト整備を含めた具体的な地域振興の取り組みをまとめる「水源地域振興ビジョン」を策定するため、幹事会やWGで検討を進めることを確認しました。



恵那市 小坂市長



八百津町 金子町長



御嵩町 渡邊町長



瑞浪市 金森建設部長



関西電力(株)東海支社 中田総務部長



丸山ダム管理所 下村所長



新丸山ダム工事事務所 野々村所長

【恵那市長】
平成29年度の東海地方における道の駅統計結果では、「おばあちゃん市」が10位であった。新たな雇用の創出や、レストランでは地産地消の食材を提供しており、地域振興に大いに寄与している。付替国道418号とリニア中央新幹線の整備による新たな人の動きを期待している。

【八百津町長】
丸山ダムや新丸山ダム本体工事等、多くの人に知ってもらえる様々な仕掛けが必要である。ツーリズムに関する住民アンケートの実施や、ハッ場ダムなど他のツーリズムの地域振興の取り組みを参考にした検討もされると良い。

【御嵩町長】
地域振興においてはリピーターが重要であり、どのように人を集めるかがカギである。外国人をターゲットとしたツアー、アクティビティの参加・体験型ツアーなど、いくつものモデルコースを作成し、選択できるようにすると良い。御嵩町では、中山道や願興寺の解体修理の連携が考えられる。

【瑞浪市 建設部長】
五月橋の架け替え(付替県道大西瑞浪線)により、八百津町との新たな交流が期待できる。付替えにより、丸山ダム・新丸山ダムと中山道や小里川ダムとの連携したツーリズムも期待できる。

【関西電力(株)東海支社 総務部長】
読書ダムや大井ダム、旧八百津発電所や現在の改良工事現場の案内等をしており、引き続き協力していきたい。



第2回新丸山ダム水源地域協議会の様子

第3回新丸山ダム水源地域協議会

*概要

日時	令和4年9月20日(火) 10:00~11:30
会場	八百津ファミリーセンター(中央公民館) 研修室1, 2
参加者	瑞浪市長 水野光二、恵那市長 小坂喬峰、八百津町長 金子政則、御嵩町長 渡邊公夫、関西電力株式会社東海支社長 小森浩幸、国土交通省中部地方整備局 新丸山ダム工事事務所長 加納啓司
議事内容	(1) 今年度の進め方について (2) 新丸山ダム水源地域協議会のこれまでの経緯について (3) 新丸山ダム周辺地域振興ビジョン(骨子)について (4) 意見交換 ・各地域における地域振興取り組み状況(現状・将来像)

*第3回新丸山ダム水源地域協議会 議事概要

第3回新丸山ダム水源地域協議会 開催報告

- ・2022(令和4)年9月20日、八百津町ファミリーセンターで「第3回新丸山ダム水源地域協議会」を開催しました。
- ・令和4年度中の「新丸山ダム周辺地域振興ビジョン」策定に向けて、周辺地域(瑞浪市・恵那市・八百津町・御嵩町)と関係機関がそれぞれの地域振興取り組み状況(現状・将来像)について発表し、意見交換を行いました。
- ・周辺地域は、海外観光客も集客できる魅力ある地域資源を保有しているため、これらの地域資源を磨き、発掘し、つなげ、組織を超えて連携を図ることで、満足度の高い地域振興を目指すことを共有しました。



瑞浪市 水野市長 恵那市 小坂市長 八百津町 金子町長



御嵩町 渡邊町長 関西電力(株)東海支社 小森支社長 新丸山ダム工事事務所 加納所長



第3回新丸山ダム水源地域協議会の様子

【瑞浪市長】
リニア中央新幹線や国道19号瑞浪恵那道路、新五月橋の建設による、将来的なアクセス性の向上に期待している。大湫宿など、地域固有の歴史・文化の発信に力を入れている。

【恵那市長】
国道418号や7号橋の建設によるアクセス性の向上や、人の増加を期待しており、特に飯地町の振興策を検討している。大井ダムと恵那峡、小里川ダムと道の駅等と同様に、新丸山ダムと周辺地域も目的化されると良い。

【八百津町長】
新丸山ダムや町内の魅力ある地域資源を活用し、将来的に八百津町を「アウトドアタウン」にしていきたい。

【御嵩町長】
中山道ウォークは瑞浪市と協力してイベントを実施している。海外の来訪者も多く魅力ある地域資源を有しているため、2市2町で互い連携した地域振興をしていきたい。

【関西電力(株)東海支社長】
水力発電や地域の歴史について、毎年、見学会や出前教室を開催している。笠置峡では、ポーランドのカヌーチームが東京2020オリンピックで事前キャンプを行った実績があり、地域振興に協力していきたい。

10月以降、各自治体や関係機関の担当者レベルで、新丸山ダム周辺地域振興ビジョンの内容や、組織間で連携する内容について、WG(ワーキンググループ)で協議していきます。

第4回新丸山ダム水源地域協議会

*概要

日時	令和5年3月7日(火) 13:30~15:00
会場	八百津ファミリーセンター(中央公民館) 講義室
参加者	瑞浪市長 水野光二、恵那市長 小坂喬峰、八百津町長 金子政則、御嵩町長 渡邊公夫、関西電力株式会社東海支社長 小森浩幸、国土交通省中部地方整備局木曾川水系ダム統合管理事務所長 渡邊伸也、国土交通省中部地方整備局 新丸山ダム工事事務所長 加納啓司
議事内容	(1) 新丸山ダム周辺地域振興ビジョン(案)について (2) 魅力をつなぐプロジェクト(仮称)に関する今年度の検討報告について

*第4回新丸山ダム水源地域協議会 議事概要

第4回新丸山ダム水源地域協議会 開催報告

- 「第4回新丸山ダム水源地域協議会」を開催し、瑞浪市、恵那市、八百津町、御嵩町とダム関係機関(関西電力(株)、木曾川水系ダム統合管理事務所、新丸山ダム工事事務所)にて、ダム周辺地域の魅力を高め、地域の満足度を継続的に高める地域振興について基本的な考え方をとりまとめた「新丸山ダム周辺地域振興ビジョン」を策定しました。
- 今年度、3回のワーキングにて検討してきた「魅力をつなぐプロジェクト」について、プロジェクト名称、方針、内容(案)について情報を共有し、来年度の具体的な検討に向けた提案や期待等について意見交換を行いました。



瑞浪市 水野市長



恵那市 小坂市長



八百津町 金子町長



御嵩町 渡邊町長

【水野瑞浪市長】良い資源を活かすため、情報発信に力を入れていくことが大切である。ゴルフや地歌舞伎の魅力発信、地酒、地酒を入れる器なども、魅力をつなぐプロジェクトに入れることを期待する。

【小坂恵那市長】面白そうなプロジェクト内容が沢山あり、1つでも実現できると良い。海外からの来訪客も今後増加すると予想されるため、世界を見据えた計画の立案も重要である。

【金子八百津町長】ダムツーリズムに関する取材内容など新丸山ダムに関する幅広い情報や、水源地域協議会の共通ロゴやオリジナル商品を開発し、関係者でPR・情報発信していくことも重要である。



関西電力(株)東海支社
小森支社長



木曾川ダム統合管理
事務所 渡邊所長



新丸山ダム工事事務所
加納所長

【渡邊御嵩町長】海外からの来訪者が中山道を歩きに来たり自然を体感しに来たりしている。都心だけでなく、日本の地方にも十分興味があるため、外国人観光客の誘客の視点も持つことが重要である。

【小森関西電力(株)東海支社長】プロジェクトの名称から面白いと感じた。一過性のイベントではなく、継続的に人を呼び込める内容にしていくことが重要である。具体的にターゲットを設定し、ココロ感のあるもので他地域との差別化を図り、多くの人に情報発信していくことが大切である。

【渡邊木曾川ダム統合管理事務所長】高齢化社会であるため、裕福な高齢者層をターゲットとすることも1つの方法である。歴史の観点では丸山ダムも歴史の1つであるため、「もうすぐ無くなる丸山ダム」をターゲットに計画することも重要である。

【加納新丸山ダム工事事務所長】新丸山ダム周辺地域振興ビジョンは、新丸山ダム建設事業を通じて実現したい地域振興の未来・将来像を明文化したものである。プロジェクトの目標実現に向けて、協議会の皆様とタッグを組んで地域の活性化を進めて参りたい。



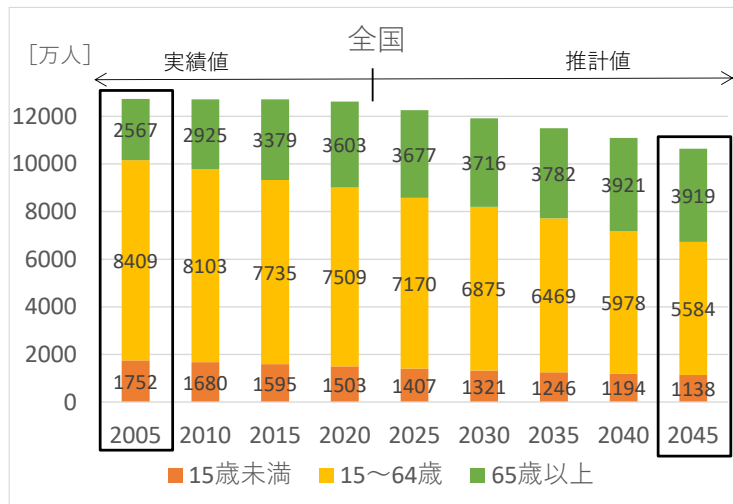
第4回新丸山ダム水源地域協議会の様子



関連データ図集

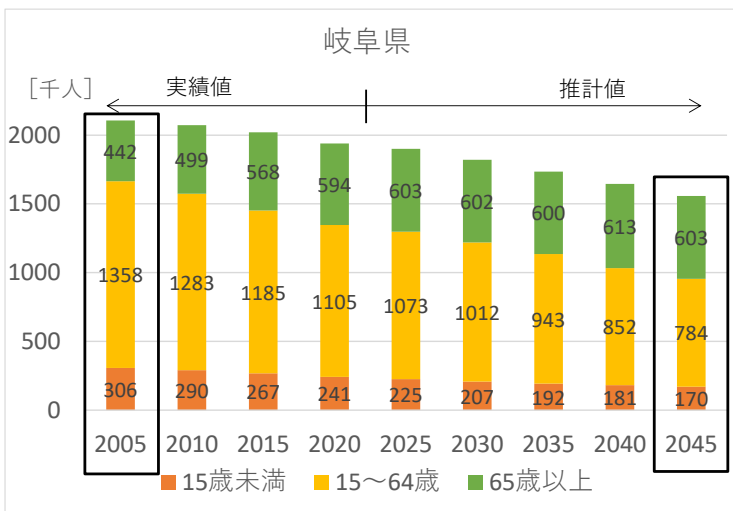
第1章の図表

図表1 年齢区分別将来推計人口（1/3）



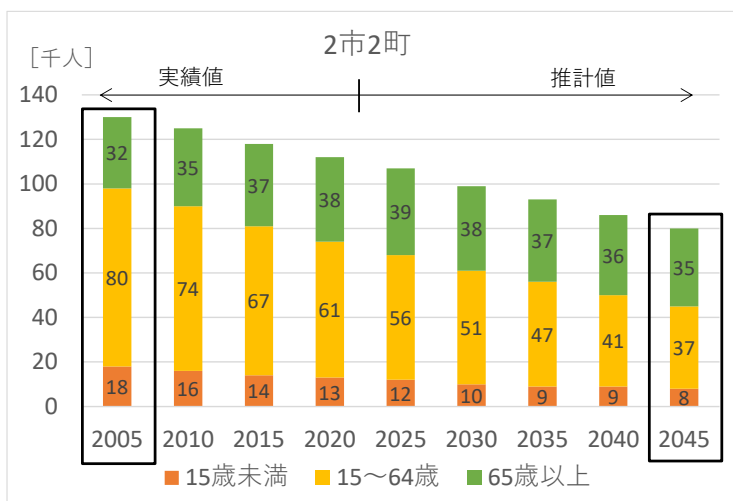
2045年における2015年比
 ・人口 -16.3%
 ・生産年齢人口 -27.7%

高齢者率
 ・2005年 20%
 ・2020年 29%
 ・2045年 37% (推計値)



2045年における2015年比
 ・人口 -23.4%
 ・生産年齢人口 -34.3%

高齢者率
 ・2005年 21%
 ・2020年 30%
 ・2045年 39% (推計値)

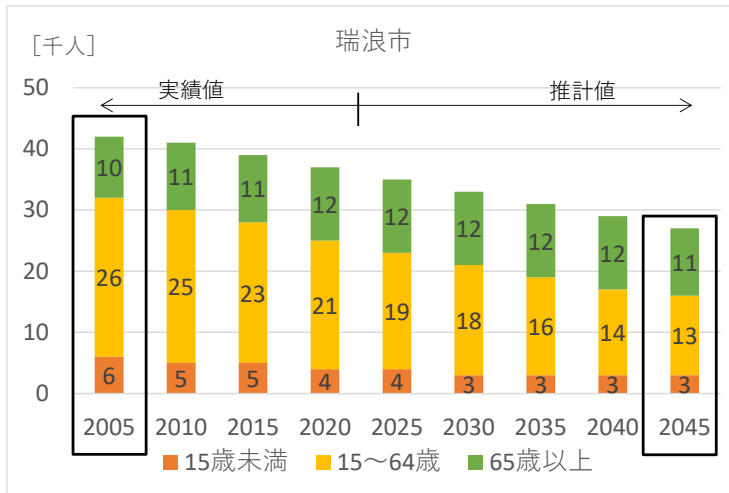


2045年における2015年比
 ・人口 -33.0%
 ・生産年齢人口 -44.8%

高齢者率
 ・2005年 25%
 ・2020年 34%
 ・2045年 44% (推計値)

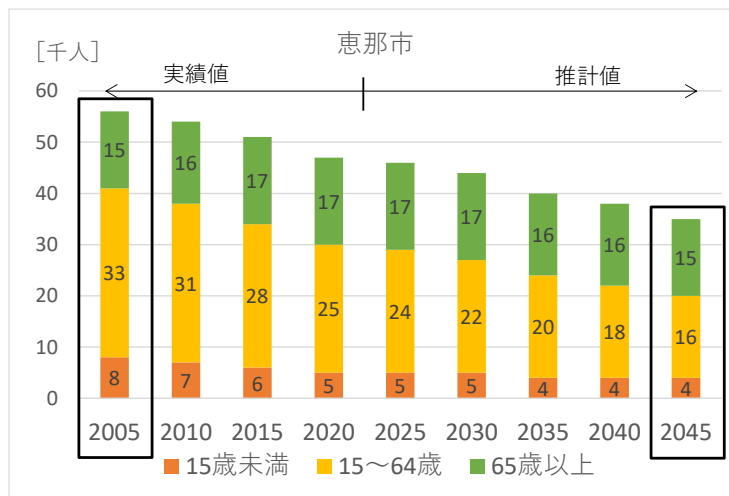
出典) 国立社会保障人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」より作成

図表1 年齢区別将来推計人口（2/3）



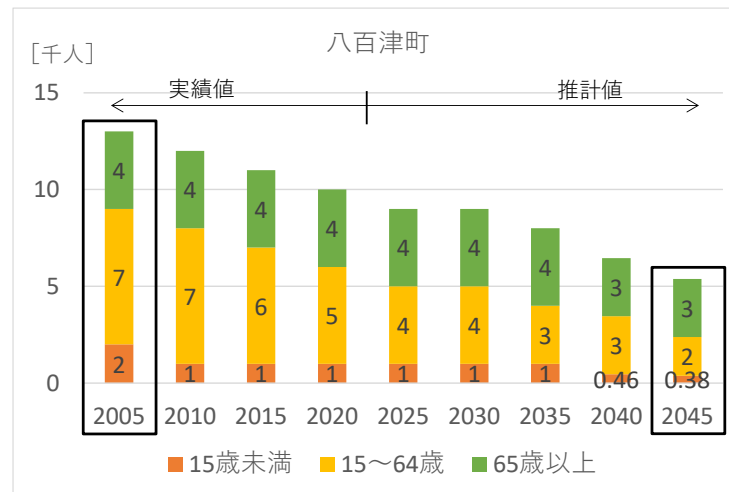
2045年における2015年比
 ・人口 -31.1%
 ・生産年齢人口 -43.0%

高齢者率
 ・2005年 23%
 ・2020年 31%
 ・2045年 42% (推計値)



2045年における2015年比
 ・人口 -32.8%
 ・生産年齢人口 -44.3%

高齢者率
 ・2005年 26%
 ・2020年 35%
 ・2045年 44% (推計値)

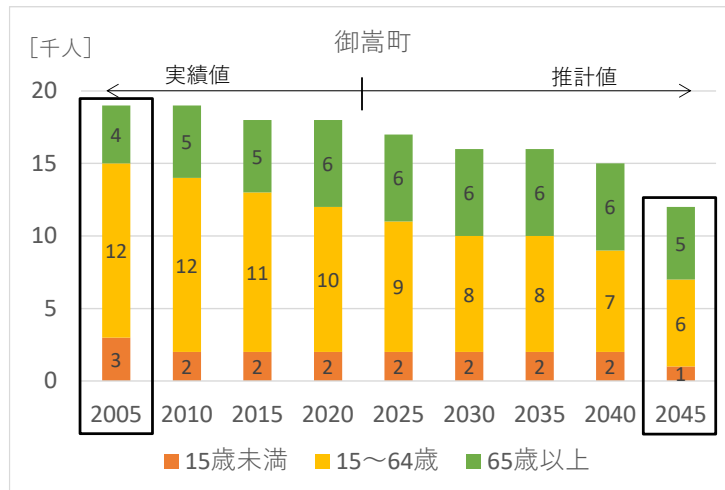


2045年における2015年比
 ・人口 -49.2%
 ・生産年齢人口 -62.4%

高齢者率
 ・2005年 30%
 ・2020年 40%
 ・2045年 54% (推計値)

出典) 国立社会保障人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」より作成

図表1 年齢区分別将来推計人口（3/3）



2045年における2015年比

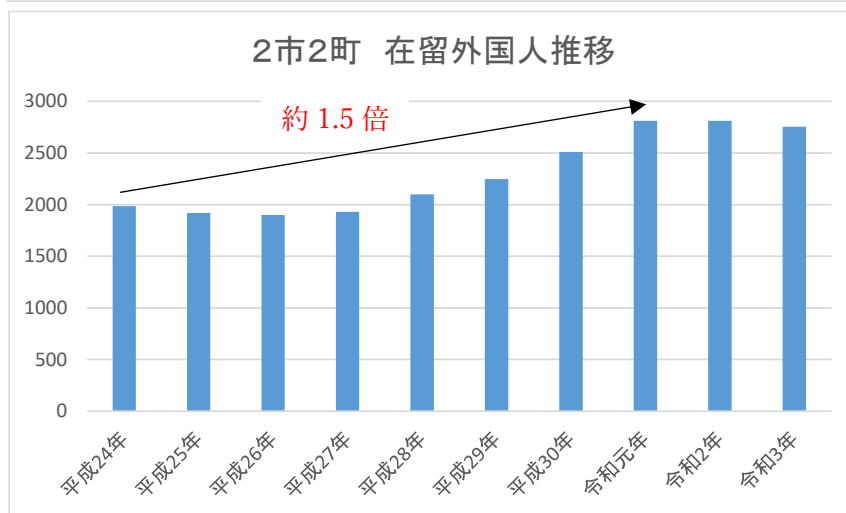
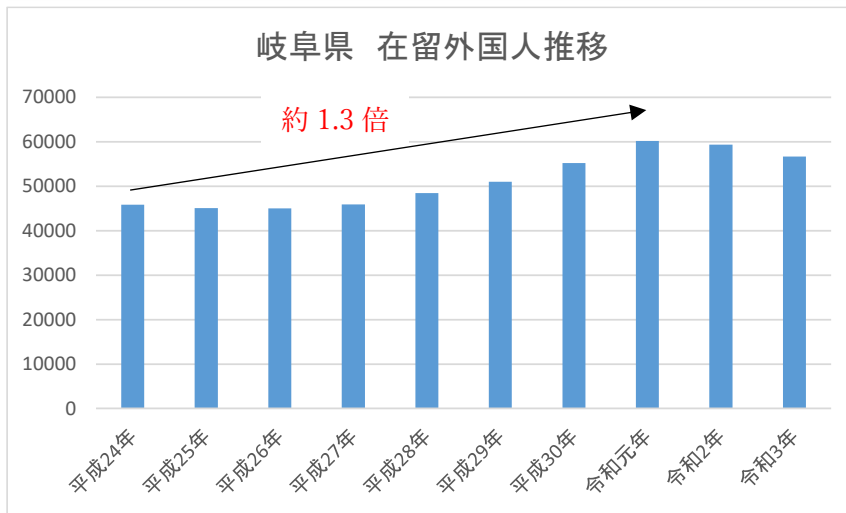
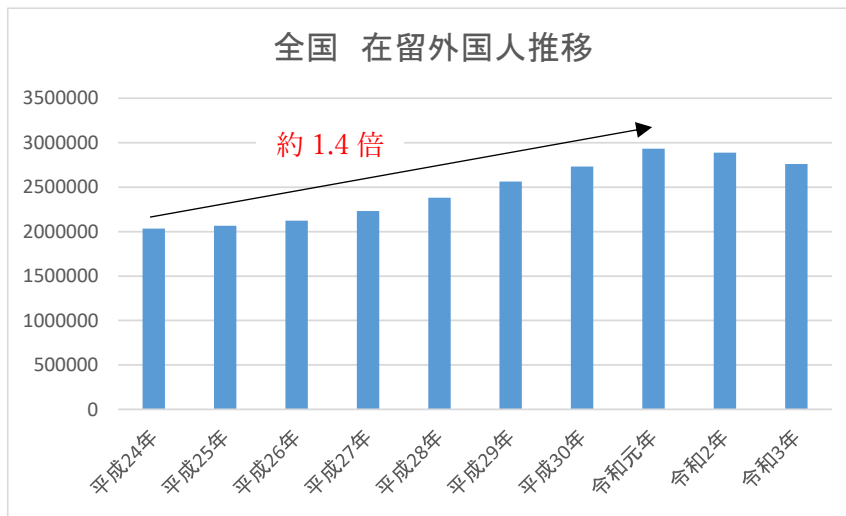
- ・人口 -27.8%
- ・生産年齢人口 -40.6%

高齢者率

- ・2005年 22%
- ・2020年 32%
- ・2045年 41% (推計値)

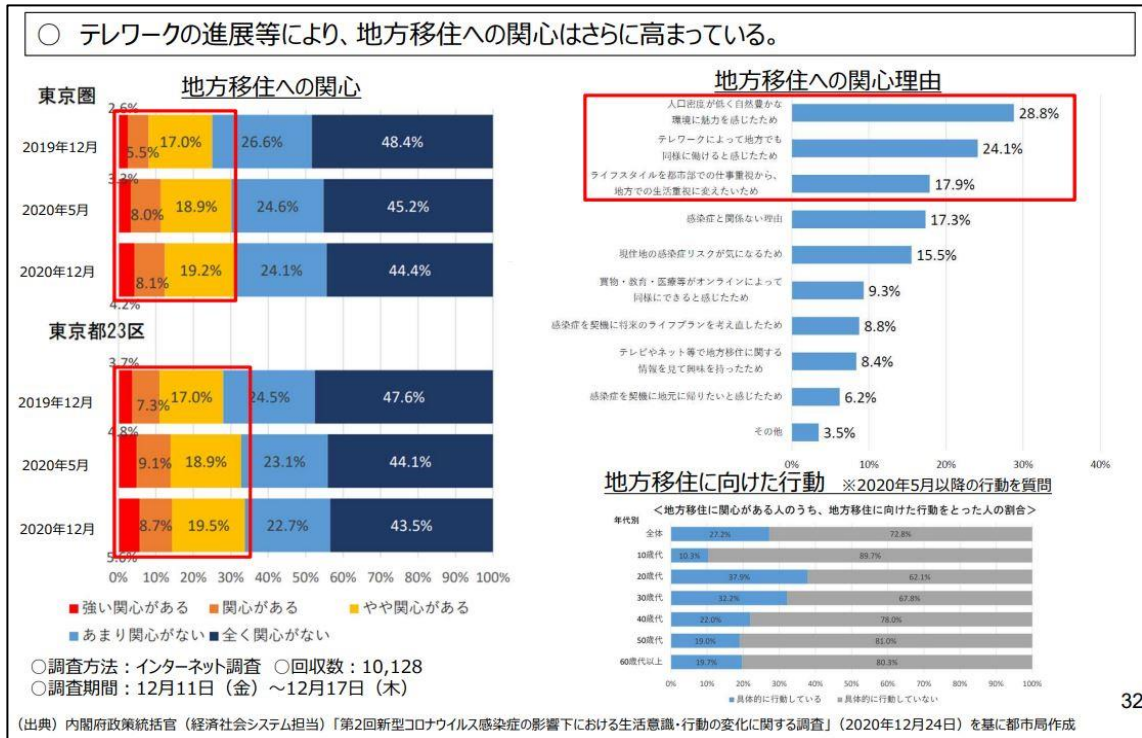
出典) 国立社会保障人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」より作成

図表 2 在留外国人の推移



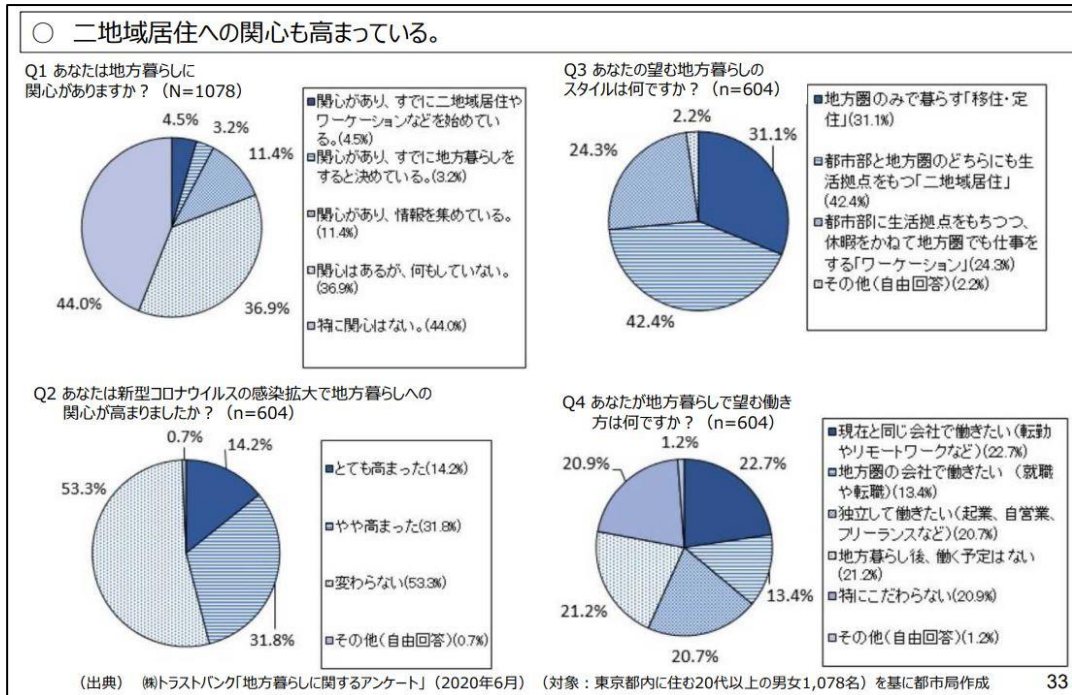
出典)、法務省出入国在留管理庁「在留外国人統計」、岐阜県 HP「県内市町村別在留外国人数」

図表3 地方移住への関心の高まり



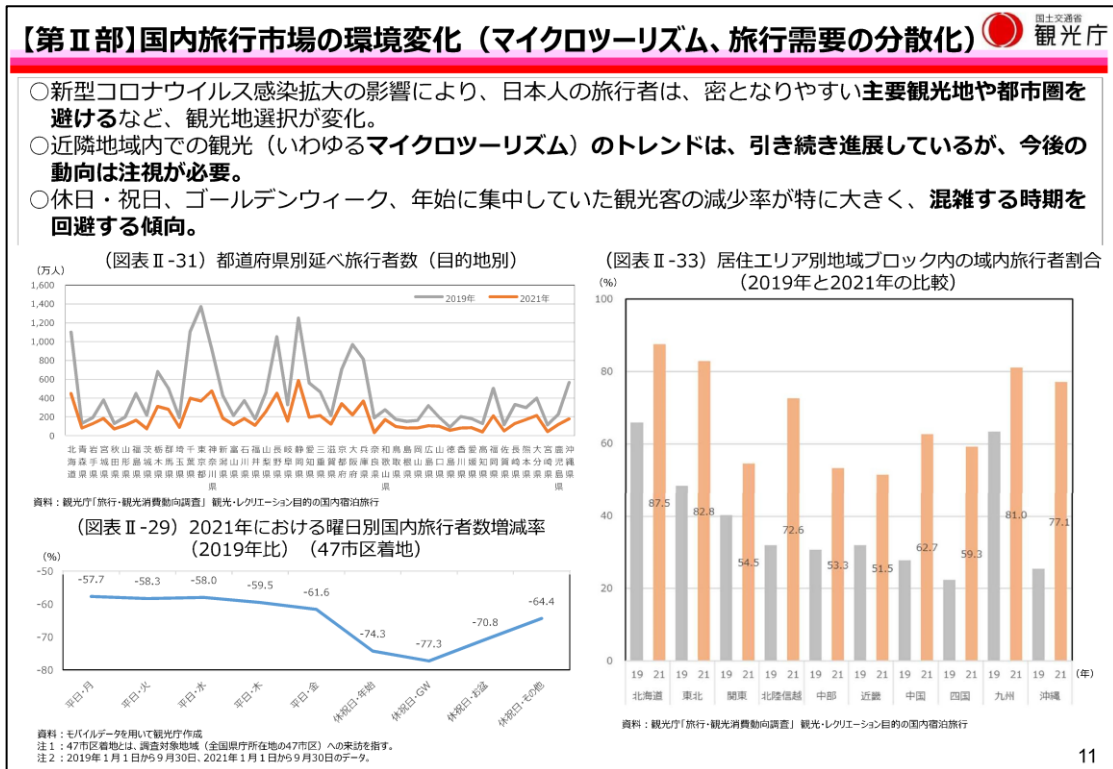
出典) 国土交通省「デジタル化の急速な進展やニューノーマルに対応した都市政策のあり方検討会」中間とりまとめ 参考資料

図表4 二拠点居住への関心の高まり



出典) 国土交通省「デジタル化の急速な進展やニューノーマルに対応した都市政策のあり方検討会」中間とりまとめ 参考資料

図表5 マイクロツーリズムの傾向



出典) 国土交通省「令和4年度観白書について」

図表6 ワーケーションの事例

【第Ⅱ部】新たな交流市場（ワーケーション、第2のふるさと）

○新型コロナウイルス感染症を受けた地方志向の高まりやテレワークの普及により、**ワーケーション※や第2のふるさとづくり（何度も地域に通う旅、帰る旅）といった新たな交流市場を開拓する取組も推進。**
※ワーケーションとは、Work（仕事）とVacation（休暇）を組み合わせた造語。テレワーク等を活用し、普段の職場や自宅とは異なる場所で仕事をしつつ、自分の時間も過ごすこと。

(図表Ⅱ-43) ワーケーションの認知と理解

- 従業員におけるワーケーション認知率は、80.5%（2020年度 79.1%）
- ワーケーション経験率は、4.2%（2020年度 4.3%）

資料：観光庁調査（2021年11月実施）

ワーケーションの事例【ユニリーバ・ジャパン】

- 8自治体と連携し、社員が地域のイベント等の活動に参加や小学校での出前講座等の地域貢献に参加。
- 社員の成長や新ビジネスのアイデア創出など、企業にもメリット。

(図表Ⅱ-49) 生まれ育った地元以外にもふるさとを持ちたいというニーズ

- 生まれ育った地元以外にも帰省しているかのような感覚を感じられる場所が欲しいと思いますか？
- 第2のふるさとを持ちたいと思う者は56%と過半数以上

資料：「週刊じかん」調べ「新しい帰省スタイルに関する調査」（2021年9月実施）に基づき観光庁作成

第2のふるさとづくりの事例【山梨県北杜市】

- 耕作放棄によって荒地となった場所で、多世代が集う社員研修として米作りを実施。
- 1年近くにわたり何度も地域を訪れ、米作りに携わる中で、地域の課題解決に参画。

12

出典) 国土交通省「令和4年度観白書について」

図表7 まちづくりに活用が期待される新技術

○ 近年IoT、5Gの登場や人工知能（AI）の高度化等の新技術の進展により、様々なサービスへの展開が期待。

IoT・センシング技術

各種センサーにより情報を収集するとともに、IoT（モノのインターネット）機器を通じてデータを蓄積

(出典) 総務省「ICTスキル総合習得プログラム」https://www.soumu.go.jp/ict_skill/

通信・ネットワーク技術

高速・低遅延・多数同時接続が可能な5Gや、低コストに広域接続が可能なLPWAの登場

(出典) 総務省「第4次産業革命における産業構造分析とIoT・AI等の進展に係る現状及び課題に関する調査研究」を基に都市局作成

分析・予測技術

データを統合・分析するとともに、人工知能（AI）等の活用により、膨大なデータの分析に基づく予測が可能

多様なデータを統合するプラットフォーム

浸水想定シミュレーション

自動制御技術

自動車やロボットの自動制御に向けた取組の進展

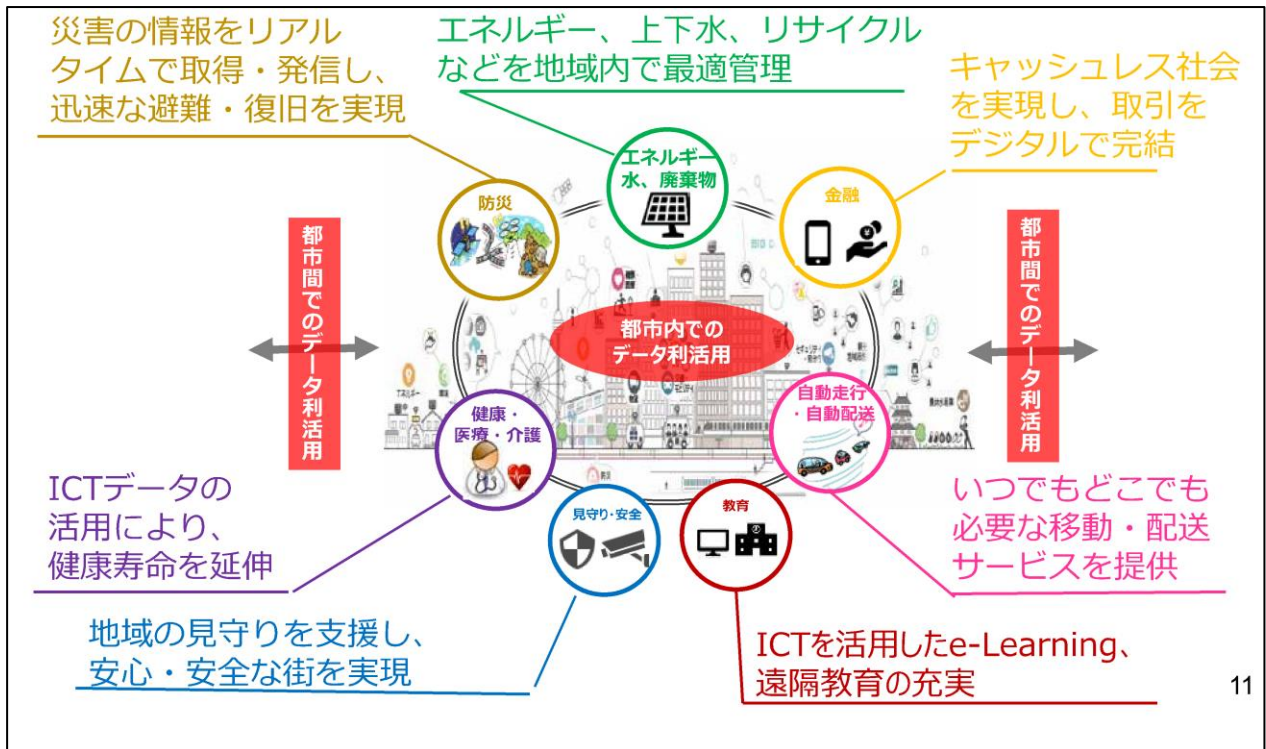
自動運転

配送ロボット

(出典) 内閣府SIP「SIP CAFE」<https://sip-cafe.media/>

出典) 国土交通省「デジタル化の急速な進展やニューノーマルに対応した都市政策のあり方検討会」中間とりまとめ 参考資料

図表 8 スマートシティの取り組み



出典) 内閣府「スマートシティガイドブック」第1版 (ver.1.00) (令和3年4月9日)

図表 9 八百津町オンラインツアー

オンラインツアー お家で満喫! 八百津町の秋巡り

11/23 火曜 1Day Only Agri cotton 勤労感謝の日

お土産付 八百津の味

【Aセット】(価格は選りません)
八百津町和菓子組合4店舗 栗きんとん6個入り

【Bセット】
備前屋 焼火鍋 280グラム
2種類のセットから選べます
【上記にプラスして】
・丸登豆腐 久田見あげ12枚
・日の丸製菓 貞せんべい 2枚

出典) 農協観光 中京支店 HP

図表 10 御嵩町リモート観光ツアー

リモート観光ツアー動画の配信について

御嵩町では、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛等によりなかなか観光ができない状況下でも、御嵩町観光を体感していただける動画配信を始めました。動画は、観光スポットを紹介するショートムービーと、町内に点在するスポットを巡るモデルツアー動画の2種類になります。制作にあたっては、御嵩町内の東濃美業高等学校の3年生のみなさんと一緒に制作しました。

◎観光スポット紹介動画

町内の観光スポット全24スポットを紹介するショートムービーです。マップ内のポイントををクリックすることで動画を視聴いただけます。

1. みたけ周遊の旅

御嵩町を西から東へ横断するモデルコース。自然から歴史まで御嵩町の魅力をあますことなく満喫することができます。



2. みたけサイクリングツアー

自転車で巡るモデルコース。御嵩町からレンタサイクルを使って御嵩の大自然を満喫しては、



3. 御嶽宿探訪

御嵩駅から西へ続く「御嶽宿」、今なお往時の面影を色濃く残す宿場の魅力を巡ります。案内人は、御嵩町出生といわれた、戦国最強の武将「可児才蔵」。



4. 中山道史跡探訪

御嶽宿から瑞浪市相久手宿へとつながる中山道。中山道沿いに広がる史跡を可児才蔵と共に探訪します。



5. みたけのええもんめぐり

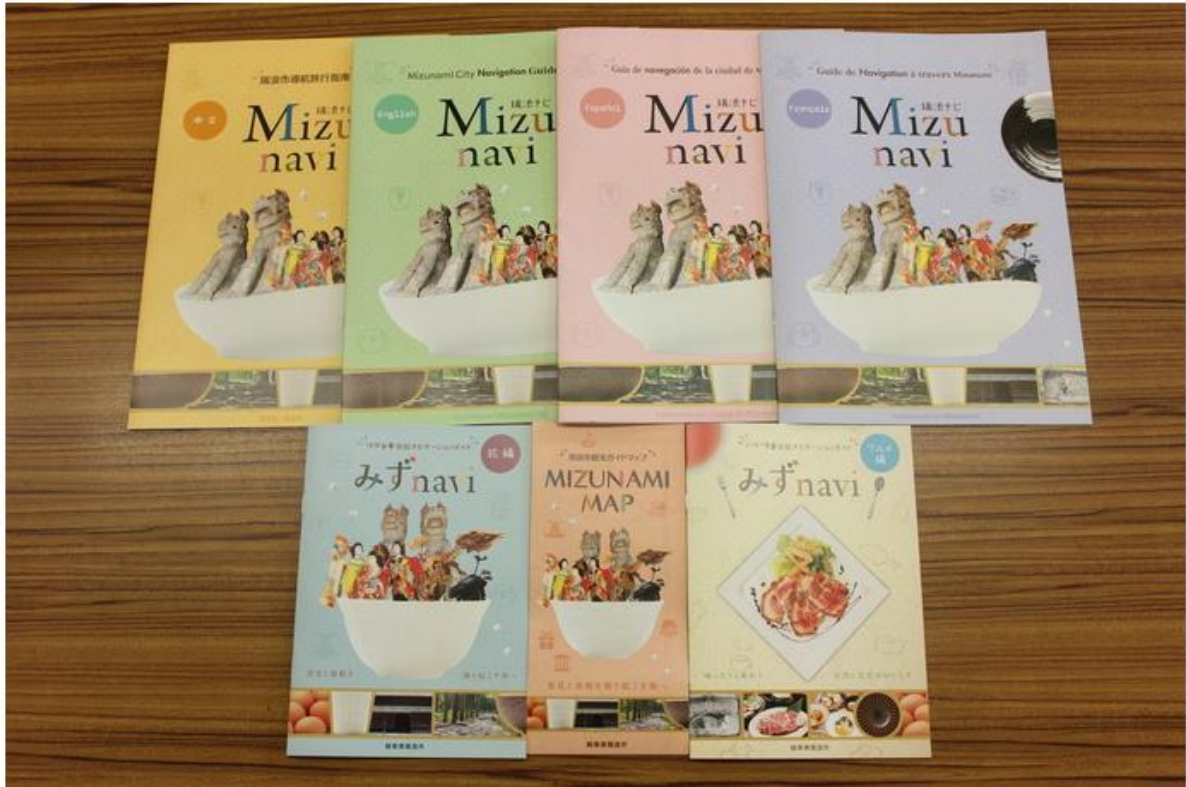
東濃美業高等学校の生徒さんと一緒に、御嵩町認定特産品「みたけのええもん」を紹介するツアーです。紹介するのは、東濃美業高等学校と町内のお店が共同で開発した3種類のええもんです。



出典) 御嵩町 HP

図 11 瑞浪市デジタル観光パンフレット

瑞浪市の観光パンフレット「みずnavi」をご活用ください



瑞浪市の観光パンフレット「みずnavi」は、観光スポットやグルメ情報が盛りだくさん！ぜひこのパンフレットをご覧ください、市内へお出かけください。

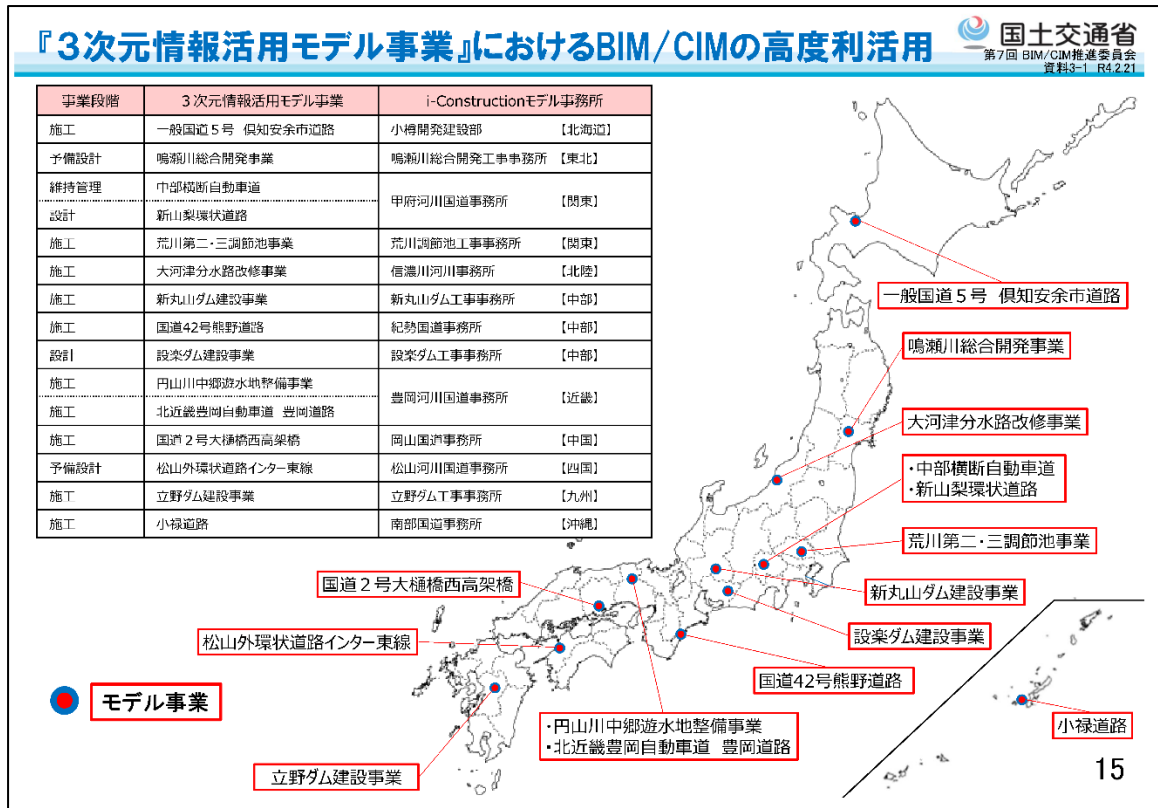
出典) 瑞浪市 HP

図表 12 恵那市デジタル観光パンフレット



出典) 恵那市 HP 「てくてく恵那観光パンフレット」一部抜粋

図表 13 3次元情報活用モデル事業



出典) 国土交通省「国土交通省における BIM/CIM の取組と今後の展開」

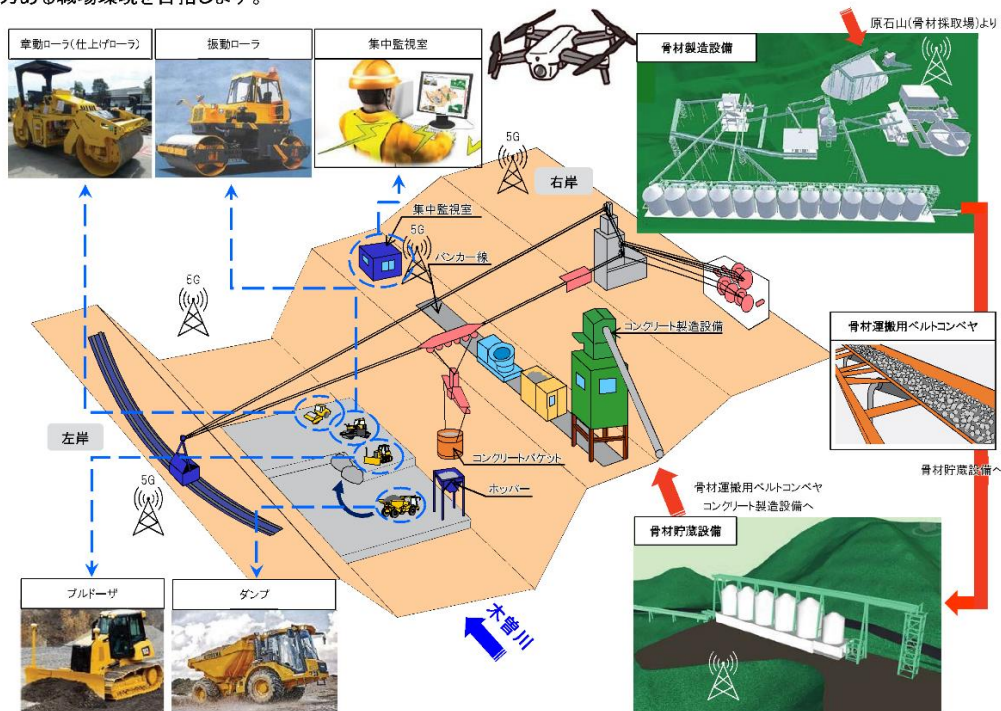
図表 14 新丸山ダム工事事務所における DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進

DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進

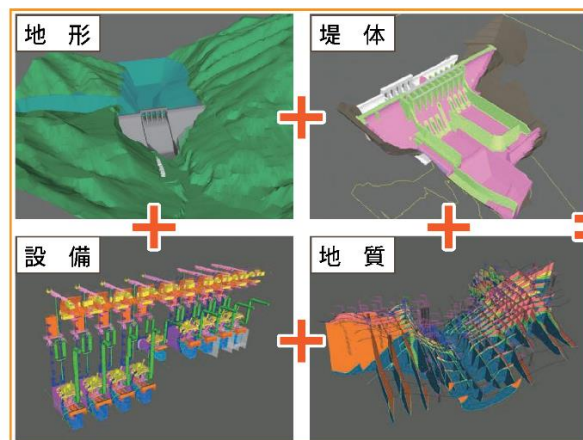
「DX」とは、データとデジタル技術を活用し、働き方を改革するとともに、安全・安心で豊かな生活を実現するという概念です。戦後、大型建設機械を使用した工事先駆けとなった丸山ダムを再生する新丸山ダム建設事業は、「3次元情報活用モデル事業(全国15事業)」に選定され、国内最大級のダム再開発事業として、高い技術力とDXを駆使し、様々な課題にチャレンジし成長する先導的役割を果たします。

ダム再生 自律型コンクリート打設システムに挑戦！！

コンクリートに使用する骨材の製造からコンクリート打設までの一連の工程を、集中監視室で制御する自律型コンクリート打設システムの導入を目指します。これにより、建設現場の生産性の向上を図るとともに、建設労働者の負担軽減や安全性を向上させ、魅力ある職場環境を目指します。

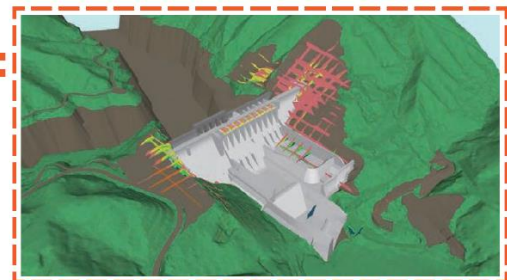


統合版CIMモデルの活用 (CIM : Construction Information Modeling, Management)



ダム周辺の地形や地質、ダム本体、放流施設等の詳細な3次元モデルを作成し可視化することで、設計や施工手順の検討などに活用します。

統合版CIMモデルは、工事期間中のみならず、新丸山ダム完成後の維持管理にも役立ちます。



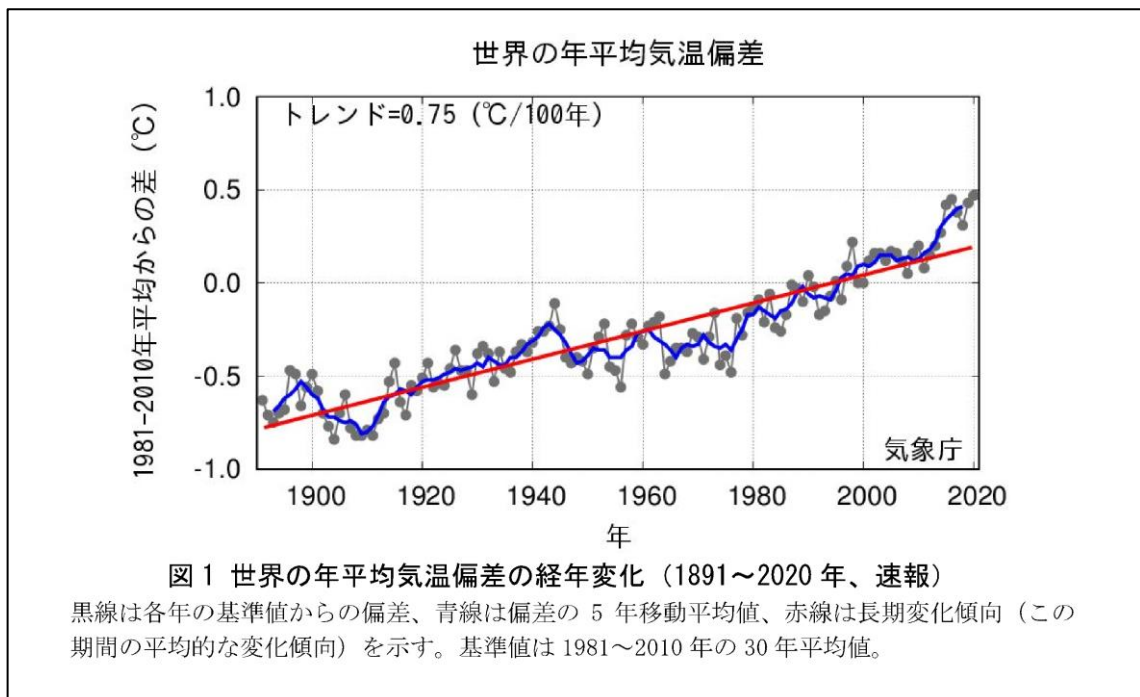
出典) 新丸山ダム工事事務所パンフレット

図表 15 新丸山ダム工事事務所の3Dバーチャルツアー



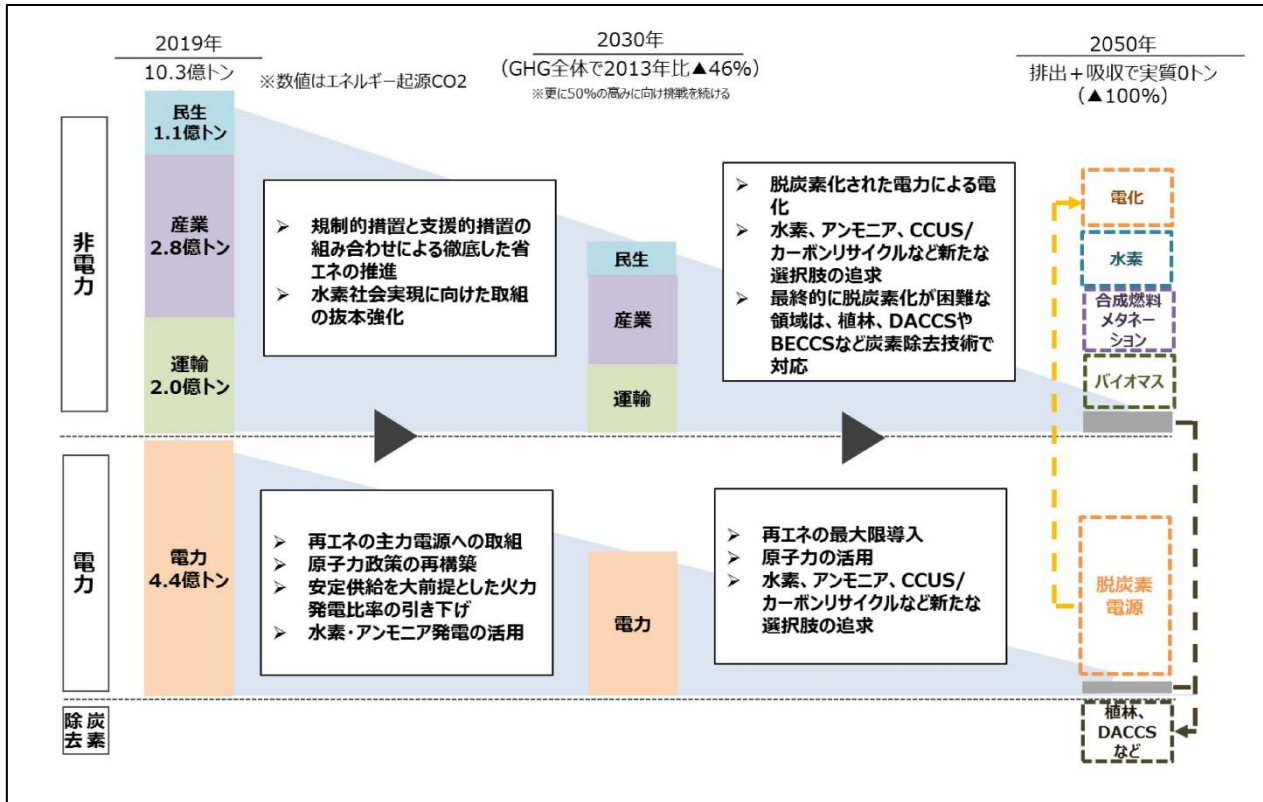
出典) 新丸山ダ工事事務所 HP

図表 16 世界の年平均気温の推移



出典) 気象庁「2020 年 (令和 2 年) の世界の年平均気温 (速報)」

図表 17 カーボンニュートラルの実現に向けて




出典) 経済産業省 HP 「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略 令和3年6月18日」

図表 18 環境負荷の少ない公共交通機関

○ 環境への負荷が少なく、狭い路地も通行が可能で、高齢者の移動手段の確保や観光客の周遊に資する「新たなモビリティ」として期待されているグリーンスローモビリティの地域での活用に向け、地方公共団体を対象に実証調査を実施

グリーンスローモビリティ
時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービス

- 従来の公共交通ネットワークを補完する「低速の小さな移動サービス」
- 運転手と乗客や乗客同士、乗客と歩行者などのコミュニケーションが弾む機能を持つ「乗って楽しい移動サービス」
- 地域が抱える交通等の課題解決と脱炭素社会の確立を同時に実現



事業内容

- グリーンスローモビリティの活用に向けた実証調査の実施を希望する地方公共団体からの企画を募集
- 採択された地域に対して、2~4週間、車両を無償貸与するとともに、国土交通省が委託する外部専門機関による助言支援を実施

審査のポイント

- ・ 地方公共団体が主体となり実証調査を行う意向があること
- ・ 予め警察署・地方運輸局・道路管理者との事前調整を行っていること
- ・ 実証調査終了後、事業化に向けた取り組み意向があること

事業スキーム


国土交通省総合政策局 環境政策課

① 業務委託

事務局（民間）

② 車両貸与 助言支援

採択地域（5地域程度）



出典) 国土交通省「グリーンスローモビリティ概要」

図表 19 環境負荷の少ない公共交通機関

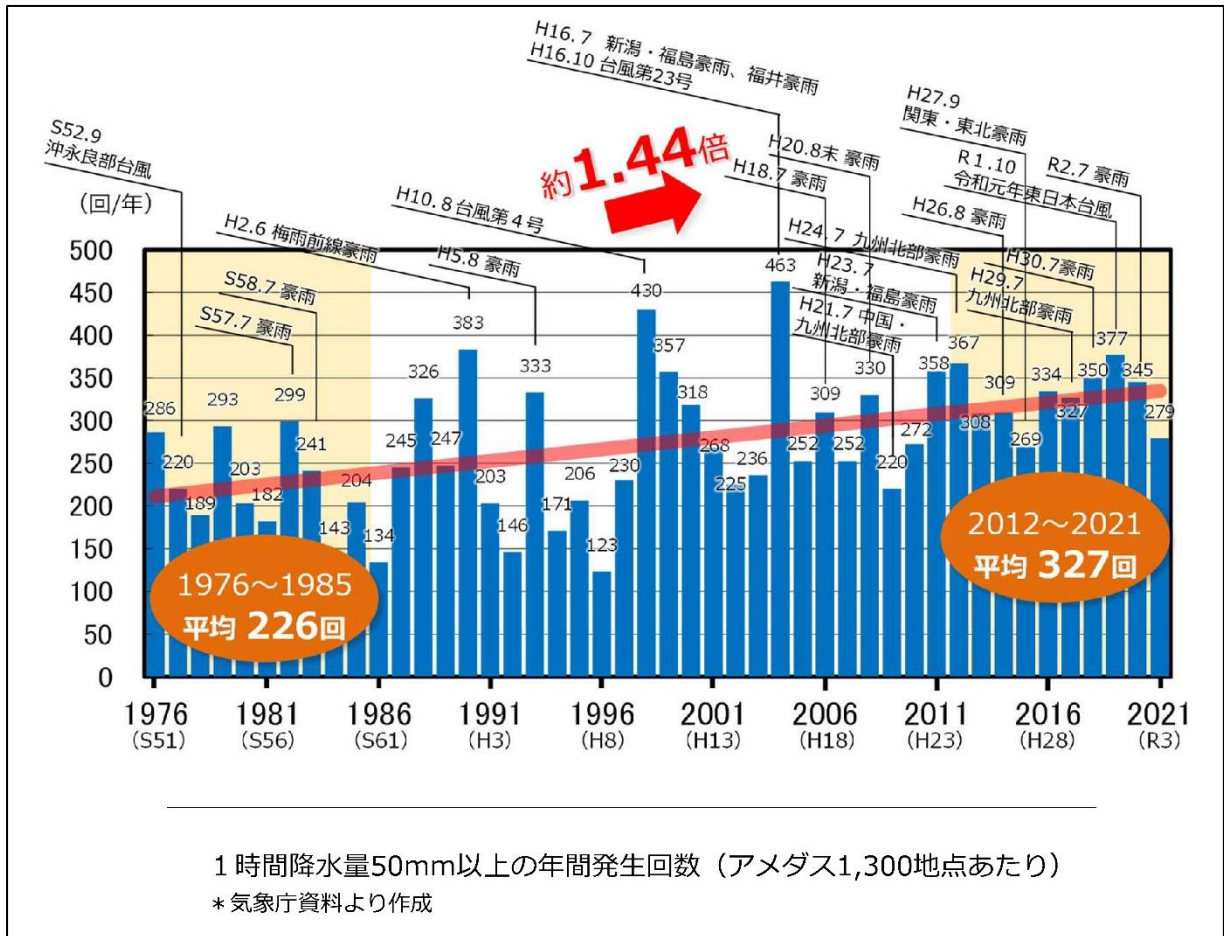
①地域公共交通計画策定

- 市町村は、地域の実情に応じた、地域にとって最適な地域公共交通のあり方について、まちづくり（コンパクトシティの形成、パークアンドライドの推進等）、観光振興等の地域戦略と整合性を図りつつ、関係者と検討・合意形成を行い、市町村地域公共交通計画を策定します。
- 国と県は、市町村の法定協議会等へ参画し、助言を行います。また、計画未策定市町村に対しては、計画策定を担う人材育成のため、担当者向けのセミナーの開催など支援を継続します。
- 国は、計画策定にかかる費用に対して支援を継続します。県は、市町村を直接支援するため、有識者等をアドバイザーとして派遣します。

取組主体		施策の内容	スケジュール					
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
行政	国	セミナーの開催、助言、財政的支援	継続実施					
	県	セミナーの開催、助言	継続実施					
		アドバイザー派遣	制度化	継続実施				
	市町村	地域公共交通計画の策定・改訂	検討・実施					
交通事業者	交通事業者	協議への参画	継続実施					
関係者	県協議会	情報共有	継続実施					

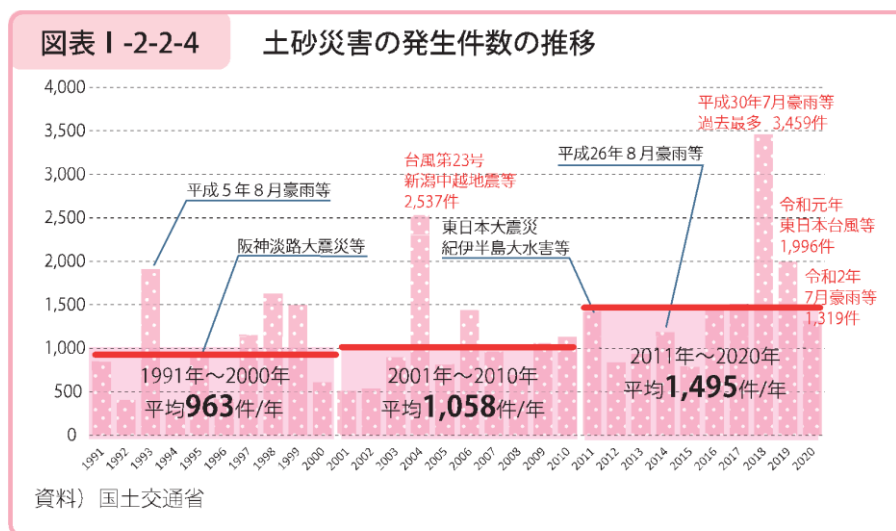
出典) 岐阜県「岐阜県 地域公共交通計画」(令和4年7月)

図表 20 集中豪雨の平均年間発生回数の推移



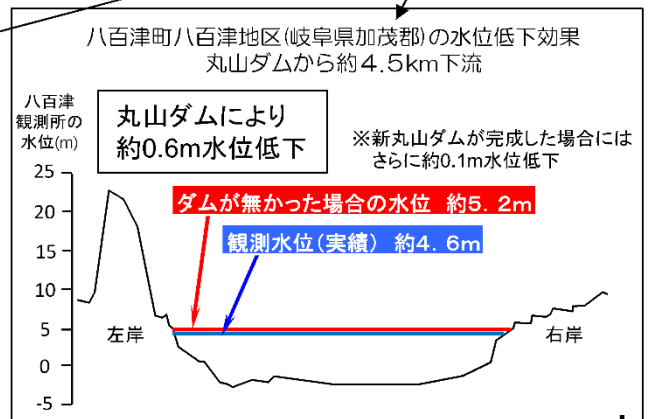
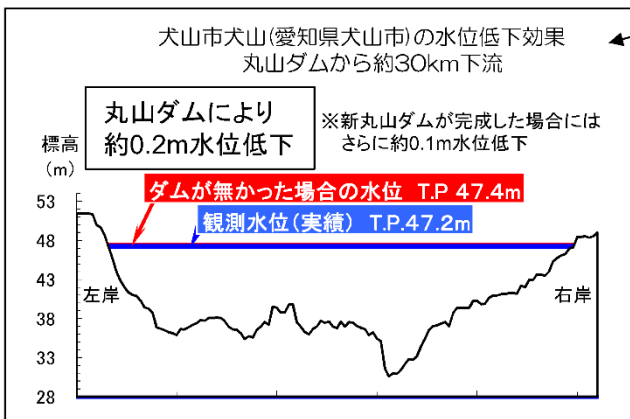
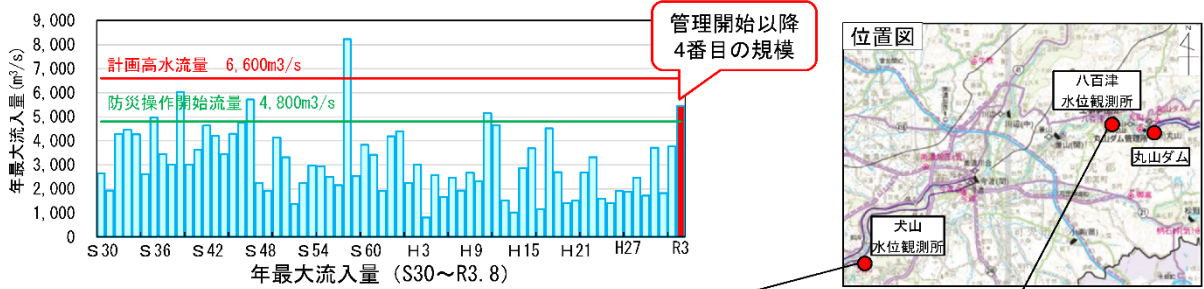
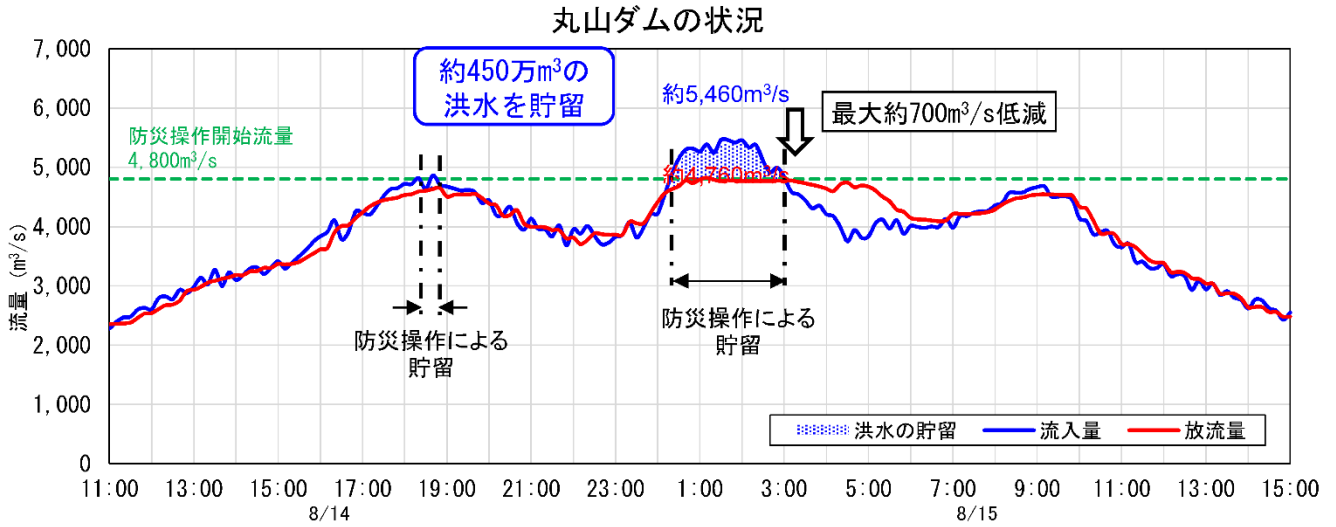
出典) 国土交通省「水害レポート 2021」

図表 21 土砂災害の発生件数の推移



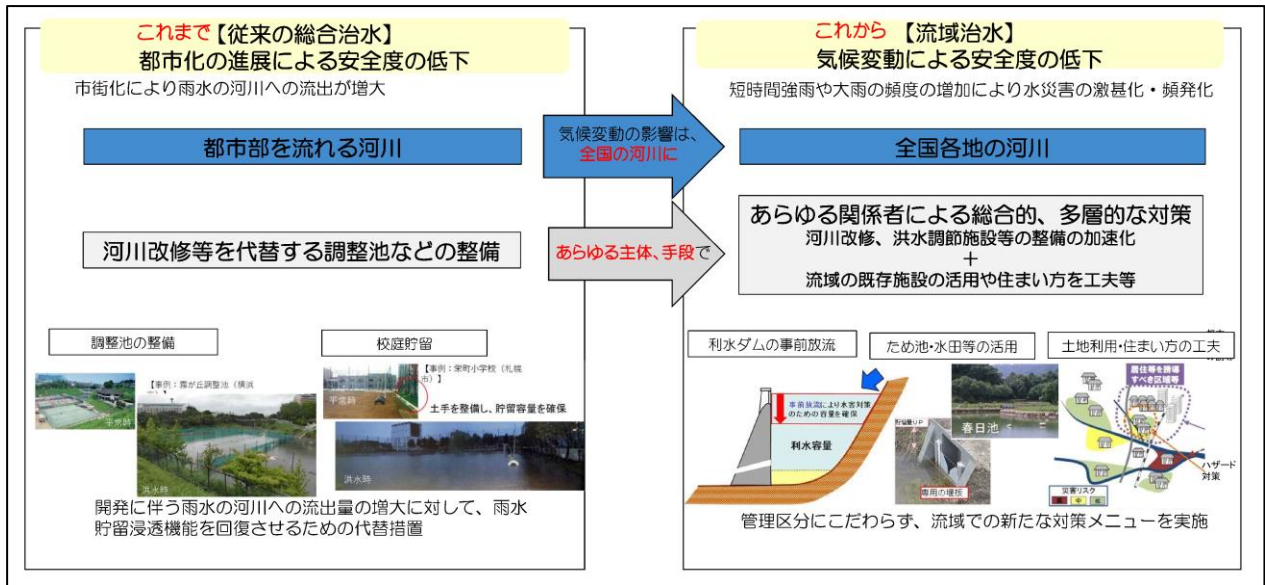
出典) 国土交通省「令和3年度版 国土交通白書」

図表 22 令和3年8月の豪雨時の丸山ダムの状況



出典) 国土交通省 中部地方整備局 木曾川水系ダム統合管理事務所
「令和3年8月の大雨による木曾川水系ダムの対応状況」

図表 23 流域治水への転換



出典) 国土交通省 水管理・国土保全局『『流域治水』の基本的な考え方』

図表 24 木曾川水系木曾川流域治水プロジェクトの取組

木曾川水系木曾川流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】
 ～ゼロメートル地帯を擁する流域の壊滅的な被害を防止・軽減するための流域治水対策～

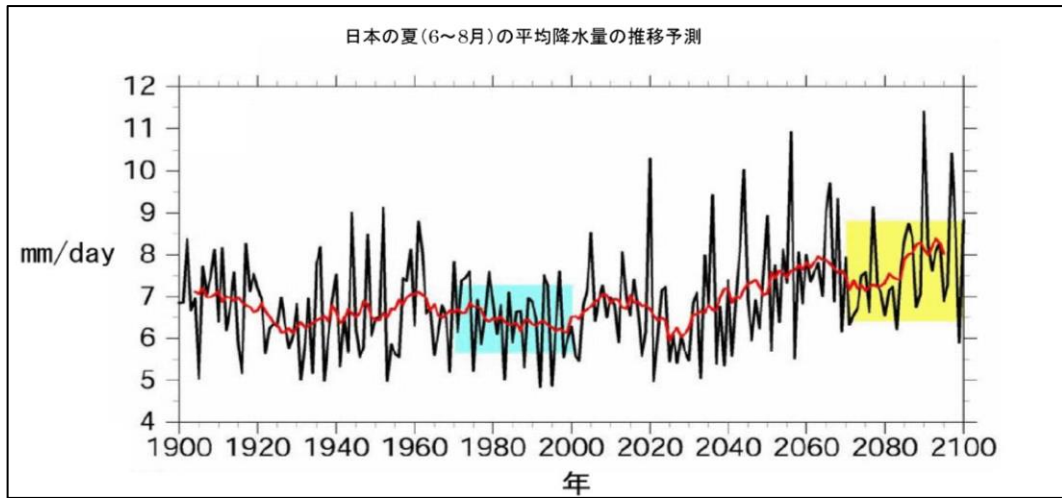
<p>戦後最大洪水等に対応した河川整備</p> <p>整備率 51 % (概ね5か年後)</p>	<p>農地・農業用施設の活用</p> <p>5 市町村 (令和3年度末時点)</p>	<p>流出抑制対策の実施</p> <p>62 施設 (令和2年度実施分)</p>	<p>山地の保水機能向上および土砂・洪水災害対策</p> <p>治山対策等の実施箇所 101 箇所(※) (令和3年度実施分) 砂防関係施設の整備数 2施設 (令和3年度完成分)</p>	<p>立地適正化計画における防災指針の作成</p> <p>0 市町村 (令和3年12月末時点)</p>	<p>避難のためのハザード情報の整備</p> <p>洪水浸水想定区域 25河川(※) (令和3年12月末時点) 内水浸水想定区域 2団地 (令和3年11月末時点)</p>	<p>高齢者避難の実行性の確保</p> <p>避難訓練 洪水: 4、604施設 計画 土砂: 476施設 (令和3年9月末時点) 個別避難計画 37市町村 (令和4年1月1日時点)</p>
--	--	--	---	---	---	--

(※)木曾川・長良川・揖斐川の合計値

<p>木曾川における事前放流</p> <p>令和3年8月洪水において、木曾川水系では13ダムで事前放流を実施。木曾川水系の上流(長野県)では、牧尾ダム(水資源機構管理)等で事前放流を行い、三浦ダム(関西電力管理)等と合わせて5つの利水ダムに約5,350万m3の容量を一時的に確保し洪水を貯留。</p> <p>これにより、長時間にわたり河川の流量を減らし、長野県木曾郡上松町の桃山地点において、ピーク流量を約2割(730m3/s)低減、水位を約0.7m低減させたと推定。</p> <p>【位置図】</p> <p><実施主体> 関西電力株式会社、(独)水資源機構</p>	<p>立地適正化計画(防災指針含む)の策定</p> <p>都市計画マスタープランに「公共交通を軸とした集約型都市構造」を位置づけ、人口減少や少子高齢化に対応した都市構造の形成を図るため、立地適正化計画における居住誘導区域の設定にあたり、浸水リスクを考慮し、洪水浸水想定区域L1(浸水深1.0m以上)を除外。</p> <p>学識経験者、交通、商工、福祉、地域等の代表者で構成する「立地適正化計画策定委員会」を設立し、アドバイザーとして河川管理者(国・県)も委員会に参加し、検討を推進。</p> <p><実施主体> 各務原市</p>	<p>広域避難に関する取り組み</p> <p>木曾三川下流部の8市町村で構成する「木曾三川下流部 広域避難実現プロジェクト」では、高潮や洪水氾濫による大規模水害からの犠牲者ゼロの実現に向けた取り組みを実施している。</p> <p>弥富市では、令和3年1月に愛知学院大学と「浸水時における広域避難に関する協定」を締結し、広域避難先を確保することができた。</p> <p>今後は、市有バスを利用した広域避難訓練を行い、問題点等の洗い出しを行う。</p> <p><実施主体> 弥富市</p>
--	---	---

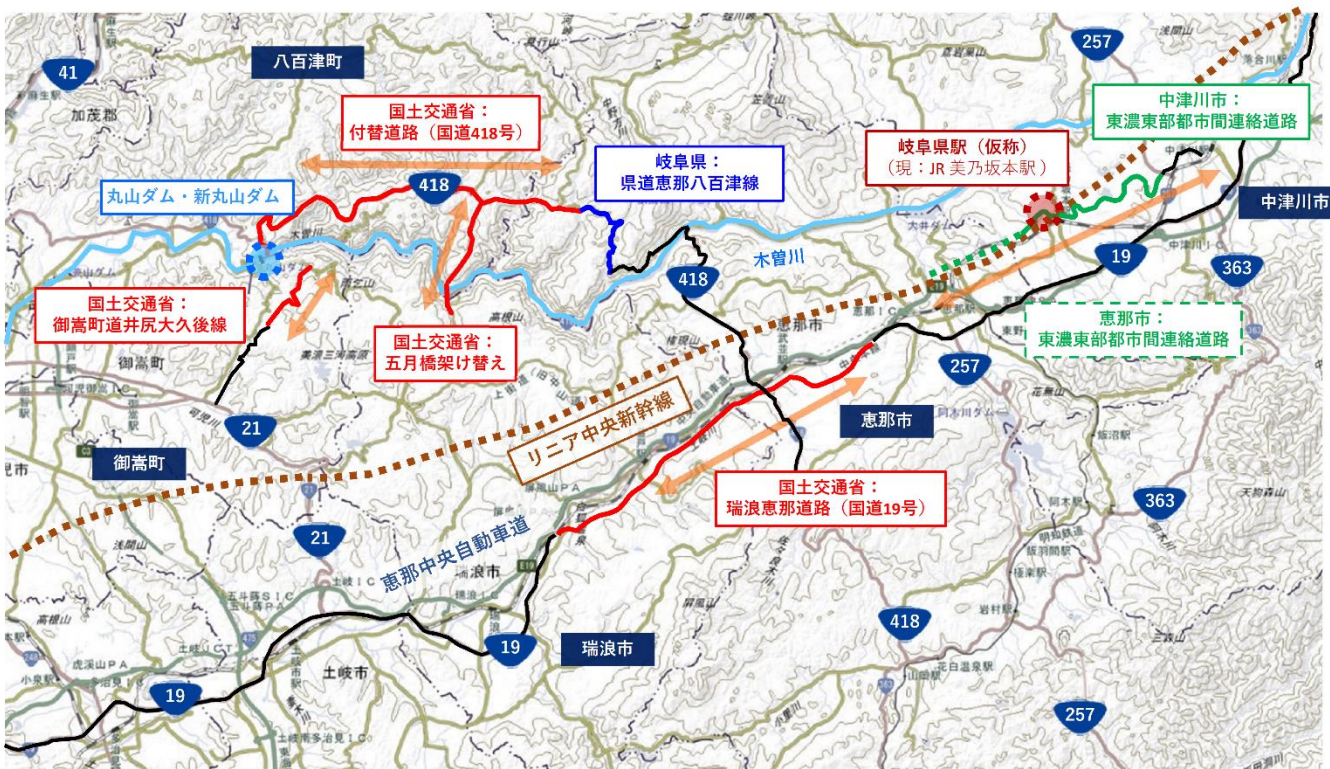
出典) 国土交通省中部地方整備局 「木曾川水系流域治水プロジェクト」参考資料(令和4年3月31日時点)

図表 25 降水量の変動幅の推移予測と渇水リスク



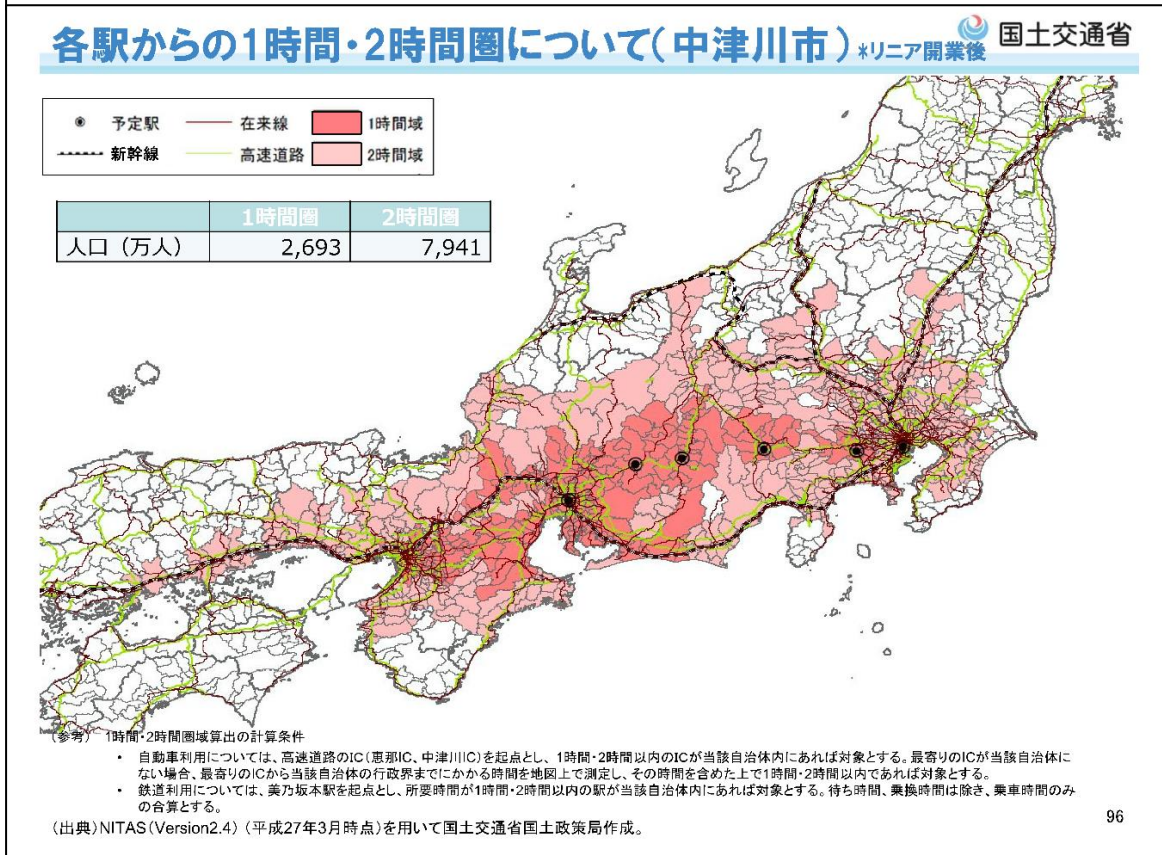
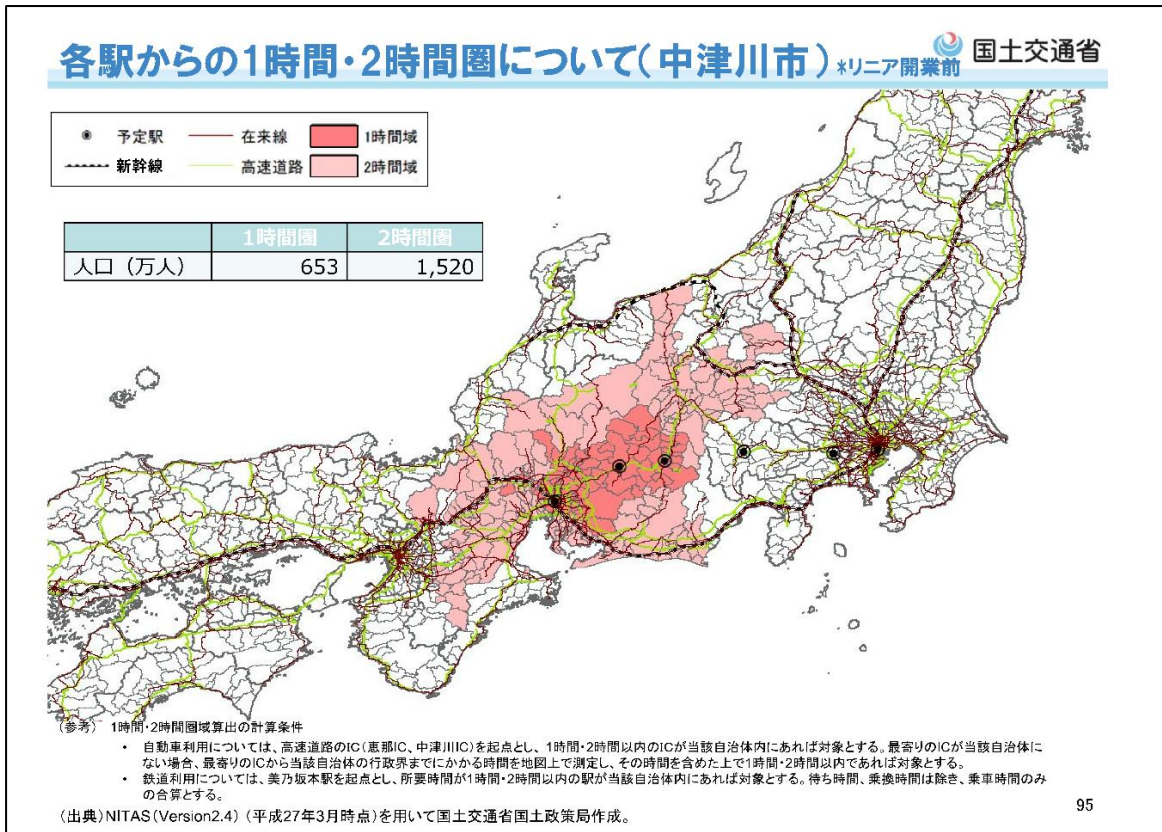
出典) 水資源学シンポジウム 「国連水の日—気候変動がもたらす水問題」 発表資料 元木昌秀

図表 26 リニア中央新幹線とダム建設等に伴う道路の建設



出典) 国土交通省国土地理院 地理院図をベースに図を作成。
 道路交通網の情報は、国土交通省中部整備局 HP、国土交通省新丸山ダム工事事務所 HP、
 国道 19 号瑞浪恵那道路 HP、JR 東海 リニア中央新幹線 HP、中津川市 HP の情報を参考に加筆。

図表 27 リニア各駅からの1時間・2時間圏について（中津川市）



出典) 国土交通省「スーパー・メガリεύジョン構想検討会」最終とりまとめ参考資料

第2章の図表

図表 28 2市2町のまちづくりに関する計画

瑞浪市	<ul style="list-style-type: none"> ・第6次瑞浪市総合計画 後期基本計画（平成31年度～平成35年度）／平成31年3月 ・瑞浪市都市計画マスタープラン（平成26年度～平成35年度）／平成30年3月
恵那市	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次恵那市総合計画後期基本計画（令和3年度～令和7年度）／令和2年10月 ・恵那市都市計画マスタープラン（平成24年度～令和12年度）／令和4年3月 ・恵那市観光ビジョン（令和2年度～令和7年度）／令和2年2月
八百津町	<ul style="list-style-type: none"> ・第5次八百津町総合計画（平成29年度～平成36年度）／平成29年3月 ・八百津町都市計画マスタープラン（平成19年度～平成38年度）／平成20年3月
御嵩町	<ul style="list-style-type: none"> ・御嵩町第五次総合計画 後期基本計画（令和3年度～令和7年度）／令和3年3月 ・御嵩町都市計画マスタープラン（平成31年度～平成40年度）／平成31年3月 ・第2期御嵩町観光基本計画（令和4年度～令和8年度）／令和4年3月

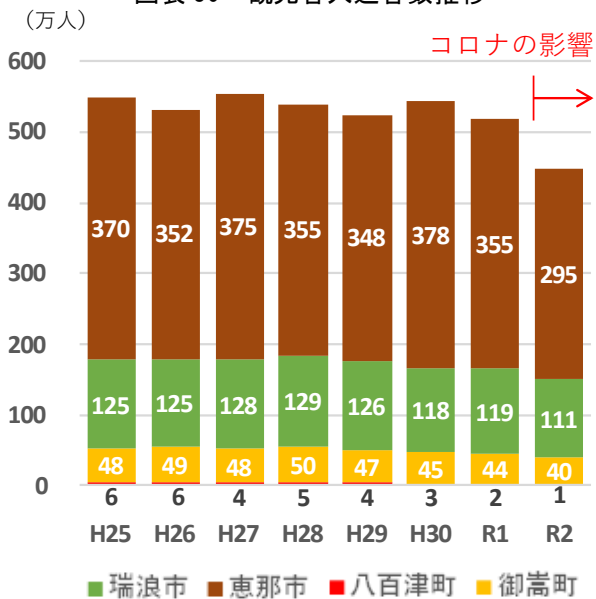
出典）瑞浪市 HP、恵那市 HP、八百津町 HP、御嵩町 HP

図表 29 新丸山ダムと周辺地域の観光資源

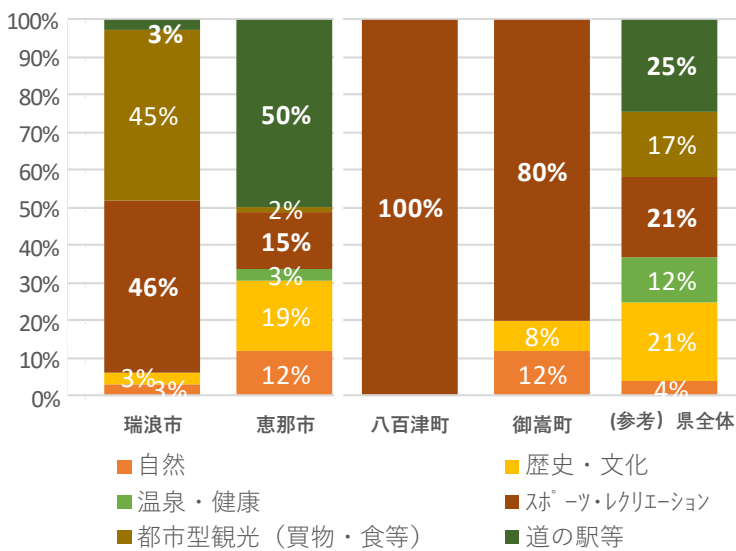


出典) 国土交通省 新丸山ダム工事事務所

図表 30 観光客入込客数推移



図表 31 観光客入込客数推移



出典) 「岐阜県観光入込客統計調査」をもとに作成

図表 32 周辺地域の観光資源

項目	瑞浪市	恵那市	八百津町	御嵩町
自然・景観	天狗塚展望台、竜吟峡及び自然ふれあい館、弁財天の池、大杉、神明水、屏風山、松野湖、竜吟湖、竜吟の滝、鬼岩公園、琵琶峠、小里川、日吉川、土岐川、木曾川、深沢峡等	恵那峡、笠置峡、坂折棚田、見行山、秋葉山、笠置山、恵那峡天界苑、農村景観日本一展望所、寿老の滝、不動の滝、傘岩、木曾川、星空観察、飯地高原（星空・ホテル）等	見行山、めい想の森、五宝滝、フレンドリーパークおおひら、蘇水峡、蘇水公園、深沢峡、潮南高原、上代田棚田、赤薙棚田、キリン木曾川水源の森、木曾川等	御嵩城址公園、みたけの森、鬼岩公園、木曾川等
歴史・文化	下里城跡、鶴ヶ城跡、美濃歌舞伎博物館「相生座」、美濃焼こま犬、化石博物館、陶磁資料館、ミュージアム中仙道、瑞浪市地球回廊、大湫宿、細久手宿、旧森川訓行家住宅、市之瀬廣太記念美術館、瑞浪鉱物展示館カールール 等	岩村城跡、明知城跡、中山道広重美術館、岩村城下町、岩村歴史資料館、岩村民俗資料館、ストーンミュージアム博石館、日本大正村、勝川家、笠置山ベトログラフ、大井宿、萬勝寺、中山神社、飯地五毛座 等	杉原千畝記念館、人道の丘公園、和知城跡（稲葉城公園）、旧八百津発電所資料館、明鏡寺観音堂、大仙寺、福地いろどりむら、八百津大橋、正伝寺 等	願興寺、御嶽宿、伏見宿、中山道みたけ館、商家竹屋、愚溪寺、謡坂の石畳、御嵩城址公園、耳神社、和泉式部廟所、御嶽宿本陣跡、洞興寺、牛の鼻欠け坂、寒念仏供養塔、一呑の清水、御殿場休憩所、山内嘉助屋敷跡、長岡観音、尼が池 等
体験・アクティビティ	科学体験（岐阜県先端科学技術体験センター）、化石発掘体験（瑞浪化石野外学習地）、陶芸体験、酒蔵見学 等	遊覧船・屋形船、酒蔵見学（岩村醸造）、いちご狩り、山菜狩り、トマト狩り、ブルーベリー狩り、そば打ち、モータースポーツ 等	ヨット、カヌー、昔ながらの暮らし体験、松茸狩り、栗狩り、酵素風呂、岐阜バンジー 等	みたけ華ずし体験、靴職人体験、わらじ作り、中山道往来 等
食・お土産	きなあた瑞浪、飛騨牛まぶし、瑞浪ポーノパーク、ハム、うなぎ、五平餅、マコモダケ、あんかけカツ丼、地酒、陶磁器等	えなハヤシ、五平バーガー、岩村かすてら、寒天製品、五平餅、栗きんとん、朴葉寿司、ゆず製品、漬け物、地酒、ハム、三浦豚、カツ丼、恵那市観光物産館、恵那銀の森 等	しおなみ山の直売所、丸山ダムカレー・新丸山ダムカレー、八百津せんべい、栗きんとん、へぼ、地酒、丸山ダム貯蔵酒 等	みたけ華ずし、みたけとんちゃん、みたけからあげ、栗きんとん、鬼岩梅酒、五平餅、栗すだれ 等
温泉	鬼岩温泉、日帰り温泉 等	恵那峡温泉、日帰り温泉 等	—	鬼岩温泉 等
インフラ	小里川ダム、八百津町道十日神楽線及び県道大西瑞浪線（五月橋含む）、瑞浪恵那道路（国道19号） 等	道の駅おばあちゃん市・山岡、道の駅そばの郷らっせいみさと、道の駅上矢作ラ・フォーレ福寿の里、阿木川ダム、矢作ダム、大井ダム、上矢作風力発電所、付替道路（国道418号）、瑞浪恵那道路（国道19号）、東濃東部都市間連絡道路 等	丸山ダム・新丸山ダム、新旅足橋、八百津町道十日神楽線及び県道大西瑞浪線（五月橋含む）、八百津大橋、付替道路（国道418号） 等	丸山ダム・新丸山ダム、御嵩町道井尻大久後線（みたけエコライン） 等
その他	ゴルフ場 等	恵那峡ワンダーランド 等	ゴルフ場 等	御嶽宿わいわい館、よつてりゃあみたけ、御嶽宿さんさん広場、ゴルフ場 等

出典）過年度の各自治体及び旅行会社へのヒアリング内容、今年度のワーキンググループの協議内容を踏まえて作成